からいふのが、昨今、「「ない」が、明今、「ない」が、明今、「ない」が、明今、「ない」が、明今、「ない」が、明今、「ない」が、明今、「ない」が、明今、「ない」が、明今、「ない」が、明今、「ない」が、明今、「ない」が、明今、「ない」が、明今、「ない」が、明今、「ない」が、「ないい」が、「ないい、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない、「ないい」が、「ない、「ない、「ない」が、「ない、」が、「ない、「ない、」が、「ない、」が、「ない、」が、「ない、「ない、」が、「ない、」が、「ない、「ない、」が、「ない、」が、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」が、」は、「

で黄河以北を戦め得た

『上平特體十二日聲』第四次総監 「上平特體十二日年前九時より中央大 「変」にて陳含式を得つた、本川は 「皮、磁交の膨性日に際り委員は 「皮、磁交の膨性日に際り委員は 「大」のたびの含語で事内容は 「大」のたびの含語で事内容は 「大」のたびの含語である。なる。なる。なる。なったでの含語であり、なり中央大 関に入る時間をこて同民會議の 変望さなつてゐるので之を語する で望さなってゐるので之を語する。 でと、なってゐるのでとを語する。 でと、なってゐるのでとを語する。 でと、なってゐるのでとを語する。 でと、なってゐるのでとを語する。 でと、なってゐるのでとを語する。

東北早顧出城尾大佐は張學出氏の で天津に越いたが、張氏の後を追 ふて天真より南京に直行するこ

ばいかる丸 十三日、港 のぼいかる丸は午町十時中港外着

帆のあめりか丸で家族同日で回東京本店に豢縛、十二月之助氏(前大連三越支店

新杉竹の貧血と食慾不進、頑固なる貧血症、腺病質の小兒、産後又は病後の衰弱、蒼白虛弱體質等に賞用されます。 100年に同共大は素を集唐にありまのの経過に同共大は素を集唐にあります。 結核性の貧血と食慾不 「きもの話」が勝手

自りを の五割安 - III + 金一四八十 中迄间領疫

更に軍以財政兩會議

しむる筈である(奉天電話)

撫順炭移出高

珍味中心 **扶桑**仙 北京料理

天禄和 〇〇 マール六六、七世 四一九六六、七世 スニニ〇七世

は十月下解以來無難疑學良氏さ 表さしての使命終了せるを以て十代 表さしての使命終了せるを以て十代 で現場ではある。 では、 は十月下解以來無難疑學良氏さ種。 表さしての使命終了せるを以て十代。

脱骨を受たが株型銀事等も参列し て止年よりレセツブションを催し で要大同國銀事所に 閻氏代表引揚

伊國々慶祝賀 量帝陸下の御誕

問題は常に 0

日本版に研究し、立て直さればな いか。 概本的さ當前的さに

特合高貴新樂を配伍す ◇小見に服ませまし 假 五十级 二十级 丹

本高くする處。 か高くする處。 か高くする處。 ▲武田南陽氏(南洲報記・) 同上 五名池上教諭外一名に引率され 十二日 〈港天南丸にて鯖連 十二日 〈港天南丸にて鯖連 乳見から

コドモの

かぜ、ねつ薬

七才迄の

かく決定。

十四億闽産の六年度鎌昇案で

大觀小觀

未曾有の基礎薄線な運算家ださい政友會の三土氏は憲法養布以來

0

効 主

能能であらればなられ。 に昨今の不景無、問題は超像

るの意、恐らくは其邊に存するに 政府が大調査會を設置せんさす

大連の 各學校調ら 工業專門學校

が、その代り襲門鼻校様にこの れば次の短くであるは二十二名といふ戦分以上の減り 墨の谷校について鵬は昨年四十八名あつたものが本年 大連商業學校、第一

東立つ大連の學生等はごんな氣掃。 中であるか、希望に燃ゆるさいふまりも卒業の後には受職職或は歌歌 ある、もかも社會の不潔無感が悪か するべき學窓にまで忍び寄る今日 である、機へば一中四年修了生の

工真では来年の卒業見込者は十二月に入つてから始めますと 特領なのも無理はない、同校の務では を業在してあるい、同校の務では を表有してある。 出来科が十五名のうち現在病 をを有してある。 出来科が十五名の会職 をか有してある。 おそらく全國 にもこ人な結構な學校はない、本年等 にもこ人な結構な學校はない。 た今度は非年通り行きますかと も今度は非年通り行きますかと をあるがこ

B

北樺太ユタ油田に送られる事さなり監管悟空間氏ほか支那人百名階がの長成就にて開議人一局が勝連港の長成就にて開議人一局が勝連

のさ見られてゐる

犬養政友會總裁の姪ご大法螺

に動き旅館に聴て居るうちに髪のに動き旅館に聴て居るうちに髪のて

眞

撮影

此の機を逸せず今すぐ御申込み下さ

約

自为是图卷期间域 方面内并上 图件口须沙 含文

電話を かけて数を晦まで光曜するこ代の鬼に他家より

大連連舞物店街常盤町 ヒグチスタヂオ

に舞ひ戻り御用

の源谷三氏方に起き天津の 取らて直に撃天に高飛びら、 同地

て知人の住所を認れてゆき御用さし、十一日燃然と來連して市内大

なったものである

晝夜

式京東

つて内地に渡り樺太、北海道を行おいて朦朧を関節で膨入これたも 地水上署ではそれん(脱籍地に飛躍の要目を見たものであるが、常腰窓の手に一糖荘藍に逮捕され送 の送還力 て來たが、一同は山東福山縣 酷して腫ってたも うの程

藤井財務課長



五千圓女給は 女の立場に同情? チップ劇漸く大團圖 不起訴 に對し アエーを職業するごころが太子はカ

遂にて

袖を振つたも

歴地の小學校からは三名の奏低待 は関東職對轄小學校在職全年報が、 布練舎の適用を受けて滿麗酔 着れものに除る、配じて在職年ごさ、なつたことは既報の語りだ 月額百割以上のものにして亦學が、 布練舎の適用を受けて滿麗酔 着れものに除る、配じて在職年小學校長の中からが低語過か出す。 し寒に彼長の職にあるもので本在係學校職具常甲一部の正されて 資格者は十五年以上小學校に配

小學校長銓衡

大連航祭局都木神祭電代理の取職が子こさ大内松子では、1年の水子では、1年の水谷では、1年のか総たった。これには、1年の水総たった。

滿鐵學務課で開始

真は討伐単に投じてまる絵々態版と事件解決 蕃人

添ひたさに

全滿籃球戰

町高等変學院が歴にて野代される

ガそのは

依顧発本官

好成績を收む

行二十名けさ着連 決定の對大連道場戰組合せ

蒙古牛の

が討伐軍に投じた

鉄盛にまみれてゐるのに驚き世末 大人の凝棄が訪れるさ窓内が一配 大人の凝棄が訪れるさ窓内が一配 豪夫、豪婦が を対し

學德街三丁目

vj

んそく治療

8

鮮鐵柔道軍 のこさだから成るべく早 黝品行商犯人

けふ市中所見

送還され來る

戦を吹き支那、滿洲を腰にかけた 螺を吹き支那、滿洲を腰にかけた 螺を吹き支那、滿洲を腰にかけた 年六月ごろより常島その他を「の心弦を奇賢に現金四十世、ダイ宗事の手襲ひを难して居つたが」なつて居るうち、同月廿二日家人と報じ、東京菅山安島院を卒業。大郎の繋ださ戦して同家に居分さ 放浪 でであるがんが、 を表示し、自分は大養。 でであるが、人物にて市 でであるが、人物にて市 を稱して同家に厄介さ を稱して同家に厄介さ た場合、本年七

伊達順之助に

罰金千圓言渡し 殺人被告事件控訴公判

世楽殿之助に係る総人被告事代技。子派出所に属出た、総融の部果、 を破棄し、罰金千圓に虚す、被 者之を納付せさる時は懲役一年 に属す を破棄し、罰金千圓に虚す、被 者之を納付せさる時は懲役一年 に属す た成繁度、罰金千圓に虚す、被 者之を納付せさる時は懲役一年 に属す を破棄し、罰金千圓に虚す、被 者之を納付せさる時は懲役一年 に成す に成す に成す に成す を放棄し、罰金千圓に虚す、被 者のを愛具、有に大連塾に続行して。 を放棄し、罰金千圓に虚す、被 人庭城中、鬼行は十日流夜に冠げ を放棄し、司を強いてるた。 を表を総常しゅれて夫妻に怠析し を表を総常しゅれて夫妻に急行し でを入だもので、難氏は十日流夜に冠げ はためがじるが大事の事や が大事としてるた。 を表を総常しゅれて夫妻に急報、 の苦力率日着「のこが実際に冠げ はたるだもので、難氏は十日流夜に冠げ はたるだもので、難氏は十日でるた。 を表を必ずしず、 を表をといるのを受具、有に大連塾に急行し を表をといるのを受具、有に大連塾に急行し を表をといるが、 を表をといるが、 を表をといる。 を表をとないる。 をまたをといる。 をまたをといる。 をまたをといる。 をまたをといる。 を表をといる。 をまたをといる。 をまたをといる。 をまたをよる。 をまたをといる。 を表をとないる。 をまたをといる。 をまたをといる。 をまたをといる。 をまたをといる。 をなる。 をまたをといる。 をまたをといる。 をなる。 をなる

川商店

· 東京寫眞建子校際經年輸不

電話・番お知らせ 一次記洋行を記し五三曲 0

(戦明書送学) 大連市援順町二三一位標列電池公大連市援順町二三一位標列電池公

神仙松瀬の

指物知修缮教教 一樣田柳霞堂 桐箪笥製造販 店 福田 店 賣 #down 店

新に鞍中を推薦 0) 辭退で

五百圓を探した

ゴタついた全國中等以

世訴の慰分に出でたら

改名記念媛房界の大改革

タイハン改め

推薦が、。 をは出し得るに至った。 を中にも代表を連む してたが。 を中にも代表を連む に変われる。 犯人就縛

妓樓下 遊興中

人について、所轄沙沙口器で艇人 は職人は職氏でよる大二日に至り存収 り合いである本盤大連管内南間鎖 り合いである本盤大連管内南間鎖 が高子料理店五十號の博夫のもさ が高子料理店五十號の博夫のもさ が高子料理店五十號の博夫のもさ が高子料理店五十號の博夫のもさ

御

後何等かの處置に出づる等である。
を受け、強いでは試合終了。 画の解音規則に違いしたを る代表さらて観中を推覧する代表さらて観中を推覧する代表さらて観中を推覧する。又率中、

またり (遅る

多謀部 に動めてある共

愈よ從業員が 演藝館を經營 年末に際して平田氏の同情 今十二日から更生

8

場馬

八七五八話電·話橋盤常連大

片瀬博士述 配明書進呈

秋田 高犬 商會 日乃 详行 改 平馬俱樂部北側 日乃 详行 改

変産のために

善せしむる等、諸多の好果を學ぐ姓産婦を保護し、胎見の發育を助け 片湖醫學博士鑑查 店商助卯田和 町修道阪大 元賣發

婚禮用御履物は 铁 内 履 電話五 七 店

浪

速

Ξ

目

七 番



浪速

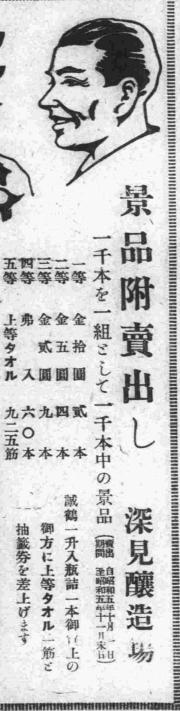
運者には拾圓が

當り











題

に批動

組ご 貳五拾 ル入園 九六九四貳 三〇 筋本本本本 0 是京口田 (期間 圣昭和五年十一月末日) 誠鶴一升入瓶詰一本御に上の 御方に上等タオル一筋と 抽籤券を差上げます

1.6

たおいます。 できた職し、ごこかへ連れ出して できた職し、ごこかへ連れ出して できた職し、ごこかへ連れ出して できた職し、ごこかへ連れ出して る三下まで、手を分けて、行方をが、加賀鷲の蝦大郎をんにこついて、こちこら始め続に繋がれていた。 一番かません、戦・脱怒して下さ 濟みません、

窓でられてなりませんでもた」

私でこの先、ごうしたらいいか識がしなりが、あちこちに御子等かけんせわが、あちこちに御子等かけ

て陸でお前はんの事を聴いて、感になく・一悪蛙さん、あつしだつれえ」

一日日(十三日) ▲衛駅・ 複四の入船(入登) ▲安達ケ原三段目の入船(入登) ▲安達ケ原三段目

共鳴会主催の雙情東馬錦、马鰕瀬は左の城くである 津鵬・會当催の下に際催されるが に一般大夫は利田は「鈴妓」二日目 は「乗合船」に出蔵し、その他門 は「乗合船」に出蔵し、その他門 を機構業(市悪)が出窓し艇も前駅 (お及ん) また弦がさして藤間融魔(お及ん) 集よく會質は一個五十錢であるさ 二二日日番組 東馬鶴送別會

大會を能すが、番組はたの短くで

久子▲喜▽、翠音▲安舎三、☆ 茶目丸)糸旭時、八兵衛▲柳、 茶目丸)糸旭時、八兵衛▲柳、 旭勝會の 素義大會 七、八日兩夜

も客が物カのはれになるかか、ちたるなができるができた。 を客ができる。 を表している。 をましている。 をもしている。 をもしている。

お

1, E 米教商 ◆ 古

で申し込めば解したの素の核がの難しさんが を対の難しさん○本派しのを を対の難したの本がは がの難したの本がは がの知らののからの が表現ををできる。 躍活の屋質

金簡

最確勉等

のふのコバタ

歯のヤニとらやあ おんがぶきやあ べえろ去やの

とらやあ

とらやあ

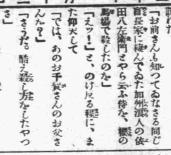
スモカでとらやあ



391

合合

會



す。その上にまた人称し鬼脈がパッさ世間へ撒がつたなち、そんな悪い父を持つた髪をが媚に居るこ

たのでござんすかえ?」 お父さんは、どこで、 膝を殺め

て 脚の下を粉くここさへようしてござんす。世間様へ迷惑をかけてござんす。世間様へ迷惑をかけているがいけるが、

ません。本情に辛いここでござん

能吐水持の金次がこんみりご。 能吐水持の金次がこんみりご。 はないますよう。

(112)

滿日勝繼碁戰

雅田 俊介氏 大

十日より

氏一回鄉二回目】

さんは人一瞥の観聴か。天さ知ったらうにあの御観郷な依田さまをあらうにあの御観郷な依田さまをい、お千賀は一人ではござんしたが、お千賀は一人ではござんしたが、お千賀は一人ではなっているというできるといった。 「まア、何さいふ情ないこさかし さうた。酷え数しおなしたやつ は、あのお手賀さんのお父さ こったか。あの極いか道の道でにてある。お前が歌きは、世間でよく知つてゐるよ。感が驚を生んだと聞でよ

お削さんのやうな態が出来たのが

道だれ?」 「あい、賞長家を出て、ごこにざ うしてゐますやら……」口では整 を繋じ、悲しみが一杯で、こもす をまじ、悲しみが一杯で、こもす を繋じ、悲しみが一杯で、こもす がが続れる。 瞬戸の外で、けたたまもく大が 前、お父さんの在所は独られえんおこまはれるで、一葉さん。お

サ三、四日開催

出ると演

蔨

一佐太夫の

無なってゐるらといが▲摩話子が確したさころによるさ管理するか で映解型に交優があり引張受けたと だけは事實である▲質館の邦上映 電話するせないさ問題に 混

十二日封切 十二日封切 東市吉州英治・戦闘・キング・戦闘野スタジオ作品 東京作吉州英治・戦督解垣浩 戦闘・キング・連載小戦 は は した ままれる

完造

から大連ヤマニホテルに記て当時の近く十三、四極を六時の時間の近く十三、四極を六時時間がある。

永井郁子女史

沿線巡演

で新電り 子平吉全

第一組より第一組より第一組より第一組より第一 特選映書週間

D かば」公州 活

十二日音

對的興味 大陽の悪みに なごころこそ

一和田君示、平塚泰小、観光を観光

竹

手

卸現

賣金

山響

訴

つき

3

天油

らら

軍

十一日封二!!! 位別映書 近日公開巨 船乞御期 证 國際

奪はれた

とより表開十二時より を選手人が扶護 大造老人が扶護 大造老人が扶護 花岡菊子、毛利輝夫 に課秋百より

にて提供、 地織羽波金紋

同無無

白紋金波縮緬反

でしと金内は文註御 ひ願金送御上以額半 金代上の來出は額暖 升致附送御でに換引

京

にて提供、多のお支度は何卒此の特賣を御利用の程願上げ吳服雜貨の著しい低落の折柄、飽まで品質吟味の上破格の 卅日迄御引受致します 十十六 图 五十錢 麦...三個八十 ン三関五十銭位 八圆五十錢 ます 用賣販信通

商店街

吉林官帖の悩み

歴史一發行品一暴落の原因

連り開催は中山

無味であった▲高粱は仕手関係に 地場來暴添の一途を逃ってるる▲ 野場大豆は油原二十車東水茂、響 で四十車の手合▲今二の豆粕状産

高は三萬八千枚操築工場十九船はつくくを操業開始の銀運に向った

油房の芳轍は容易に脱っち一れのようである

彼等の切扱策は?

明を明していて、 を目安において、組合員がその同をは、 を対して、一方面の有の。 を目安において、組合員がその同なようです。 をはお互のためには、郷内の含に出て、 をはお互のためには、郷内の含に、一方面の自って、 でするようですが、たいくのですからですが、またが、中心ですが、たいのですが、たいですが、たいでですが、たいでですが、たいでですが、たいでですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいですが、たいですが、たいのですが、たいですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのですが、たいのでは、一般の方ですが、たいのでは、一般の方ですが、たいのでは、一般の方ですが、たいのでは、一般の方では、一般の方ですが、たいのでは、一般の方ですが、たいのでは、一般の方にない、一般の方ですが、一般の方には、一般の方には、一般の方にない、一般の方には、一般の方にない、一般のの方にない、一般のの方にない、一般の方にない、一般のの方にない、一般の方にない、一般のの方にない、一般の方にない、一般の方にない、一般の方にない、一般の方にない、一般のの

及び秋に慰い事常に珍しく感でら 大大車に居りますものが、毎年春 がの道程にあるのであります。程 動の道程にあるのであります。程 動の道程にあるのであります。程 んることがある。それは無統衛後

歌をしてくる、その來る人間が普通歌のてくる、その來る人間が普通歌の大手にない所へ、親子、兄等のカバーもない所へ、親子、兄等のカバーもない所へ、親子、兄弟の世紀に何 渡ってくる、その來る人間が普通から大學の支那苦力が大生の方に「對この山東の芝罘、龍口あたり で民族の移動さ うやら 野現の

上に要する総数は極い 上に要する総数は極い 上に要する総数は極い

或株(强保合)

して管理された を採用された を採用された せたいものである。 は影形式内地に撃撃が 地は割合に新ららい 地は割合に新ららい 況年二世

離れて沃野の滿州に移

百

日本の財界と

綿糸布界の近狀

山 東州福勒東路 角野久造 談

の高な特

ですった。 ですった。 ですった。 ですった。 ですった。 ですった。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 落

は、ます。書くが出来るや否やさ云ふ間、ます。書くが出来るや否やさ云ふ間であるがらなはなけれる。 はなられ、一株間を食ふか、高樂・玉蜀黍を食ふのであります、は、さうして徳母はそれ等を常食させて、なが大丘程多くはでもの、一株間を食ふか、高樂・玉蜀黍を食ふのであります。 は大して生じない、が鑑多少はわけれてなが大丘程多くはないのであります。 こうして徳母はそれ等を常食さす は大して生じない、が鑑多少はあい、高樂・玉蜀黍を食ふのであります。

麻袋變らず

原総 産地情報は緩八分の三高 「大錢、十二月二十五錢、一月二十 気候八厘、二月二十五錢、一月二十 大錢、十二月二十五錢、一月二十 大錢、十二月二十五錢、一月二十 大錢、十二月二十五錢、一月二十 大錢、十二月二十五錢、一月二十 大錢、十二月二十五錢、一月二十

◆定期前場(单位段)
期近 英语 老00 英 里 美公 期 近 英语 老00 英 里 美公 期 近 英语 老00 英 里 美公 期 更 第 400 英 里 美公 期 更 30 是 100 英 里 美公 期 美 30 是 100 英 里 美 30 上 100 更 100 元 图 1

▲東短前編 本大阪。物 本大阪。物 本大阪。物 本大阪。物 本大阪。物 大阪期

安取代常前場寄 米 式

婦人の病は婦人の手で 永井婦人醫院 世話三六六六年 0

〇明大 五洋山 九行通 三四四 凹間 0

今井醫 南は来りくご

□ 近河田野出鉄 山州 □ 横 3 · 交 武 丸 士 三 夫日 阪 梅 源行(摩 浦 丸 土 三 夫日 東 梅 美 洛 丸 士 三 夫日

阪

花 大

入連 濃川電三六八二

寄 **棉**

| 日本郵船出帆

松浦汽船或會社

岸石 十一月 日 日

加

○ 理店 松 浦汽船 大弹加加工 丸 十 大弹加加工 九 十

阪

過去現在及將來

所は二本は勿論ョ

から吾々は共處に れずけのよ

諸株共新高値内地株爆發し 式

市場電報守山田 =-

前籍

|| 日清汽船軟出帆

端州が電際、那人によって経り 満州が電際、那人によって経り 満州が電際、那人によって経り

を以て年々進んで

四下幽科醫院 電品三六七卷

票保合

意味を有も酸人館を有も酸人館

一九七智比

明能性を加へて来

年刊。出土 | 東山東土月土山 年刊。出土村 | 東山東土月土山 東 店 東 店 | 電話四十三七百 東 店 | 電話四十三 日 | 電話四十 日 | 電記一 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日 | 電 日

を与数を以て元せば を与数を以て元せば を与数を以て元せば 毎の増加のステツ

な 讀 物 0 本

象

た

原

因

B

切

ち

2

れ

が

才

讃

竹田敏彦 悟道軒圓玉 神保朋世畫 雨洋財酒折妓車がいて 新に服 財持の 特になる。 ではなか。 ではなか。 真赤な紐(成金奇迹)··· あ

濱尾 四縣 武者小路實第中村武羅 小路實第 三郎 フランチェス コ・ニッチ手記 花 柱駄跡鰻柳屋柳子 月 州 家 家 豆 穏 か さ 語 里 木 森 さ 語 寶賀一國五十七錢送 郎正さミスターニツボ 治即数力濟方 印刷局心員

五 大初 之 郎膳助

直

河

野通

勢畫

草き

岩田專太

父の愛さ父

0

《木味津三

愿

激

苅

谷深隍

名

戦士の墓

社

說

國債相場の前途で

は一般管部に旅て事実と三千萬は一般管部に旅で事業ともれてかる。 しかしからな事態でもなる。 しかしかい

挨拶を受け

のは殆ざなかるべく

即ち來年度

一度 は一千四百

在

流浦邦人

0

活動をみて

擴張に決定した

補足一億三千度圓(二千萬圓增額)

閣議の結果海軍補充計量機額三億

萬回は十一年度までに支出し残骸

戻ぐましくなつてきた

不年度減債基金激減

は残論ドイツ賠償金を関係整理をあったのである。こかるに来のは残るとはをありて現在額を減少せらめんのである。こかるに来のである。こかるに来ののである。こかるに来ののである。こかるに来ののである。こかるに来

(減少な来ずこさになる (単位干国)

金は本年度に比したの如

〇 に養した非夢(歌)を発展されてゐる 加へ國情相場の前途波瀾を築した中夢(歌)を発展を かってるる

破行額は (電話は (電響板を一千萬 の単度養行りが)

高松宮兩殿下

節減繰

節減

六千二百九十

一餘萬圓

一、四〇四

國内戰爭防止の

摩懿し同時に氏を社民驚顧して推った。 大文治氏の總同盟會長納任の代を 大文治氏の總同盟會長納任の代を 大文治氏の總同盟會長納任の代を 大文治氏の總同盟會長納任の代を 大文治氏の總同盟會長納任の代を

一千萬國增額)裏實局擴嚴經濟資本 搬滅の為め大職者は明年度大廠省 上級職所の為め大職者は明年度大廠省 一年度、大廠省

掟を確立した

張學良氏南京で語る

四回目の正貨現送な行ふこさにな 上門日標濱出駅のマニラ丸で第十 に 東京特電十二日盤 正金銀行は

正金正貨現送

第十回五百萬圓

単子蔵の豪港のハーバート・ブラント君▲アレヨアレヨさ云ふ間に や事の下敷になり窓にやられたか を観つて居るさ後遠した汽車の下 からヒヨツコリ継・りかすり傷一 つ受でにニコニコとて居た▲そし てほく「車の遡るのがよく見えた

繰延

リスポン

なれば現内閣は組閣當初一般會能大であらうさみられてゐる、何之大であらうさみられてゐる、何之大であらうさみられてゐる、何之大であらうさみられてゐる。如 その非事態政策の一端に破骸を記るが開かりを対してあることは大震田の主義な合せてあることは大震田の主義な合せてあることは

ド行列車でリスポンへ御動着遊宮同地殿下は本日正午マドリツ宮同地殿下は本日正午マドリツ宮同地殿下は本日正午マドリツ

ŀ

ひと安心

に振り向けたのであるから ※年度 「頼は大子二百九十六萬二千圓縁延のる上に枯の短くドイツ賦徴金を に於ける既定費郷部約纏頼は一億年度築業に於ては興餘金が常無で 『東京十二日登電通』明年度築第二年度、

報は六千四百四十萬五千側を常別 内部は左の如くである(単位千側) 特務省 外務省 一つ六七 一部減額 大蔵者 一つ六七 一部減額 大蔵者 一つ六七 一部減額

二、四八二 三、六二一

六千四百四十餘萬圓

案協議

| 東京十二日登電通 | 大蔵省は窓

が財政の基礎

五、六六六

危殆に瀕す

蔣氏の案内で

東上上 173 174 で 175 で 17

關東廳審議會

ススク神定書旅職地職で密載した 家支突渡はロシア政府が支那全権 「監支突渡はロシア政府が支那全権 「監支突渡はロシア政府が支那全権 「監査のた」に至の好き交響を送った 「で至った」 「でであった」 「でであった」 「は致て南京政府のへ 「な経来のが監験総では、当野職等中であった。 「でであった」 「でであった」 「でであった」 「でであった」 「では、「は致て南京政府のへ いで正った」 「でであった」 「でであった」 「では、「は致て南京政府のへ いで正った」 「でであった」 「でであった」 「でであった」 「でであった」 「でであった」 「でであった」 「でであった」 「でいた」 「でいたった」 「でいた」 「でいた

記念會出席

七百萬國に過ぎなくなつたが、元 燃車延縮の変り七のかめ五百萬風を吐き出し変りは 果萬一に儲へ得る保留監視は軍部の猛然な後活要素 つた、耐して明星のないとは、東京十二日養電通」煙草元質調 火したものであつい

自由財源八百萬圓のみ

でるを得ぬ処き事態を悟りこの子 2000年のかめ五百萬風を吐き出し残りは 2000年のから五百萬風を吐き出し残りは 2000年のから元 2000年のから元 2000年のから元 2000年の 2000

門のみで且つき

除金百四十

北寧沿線在住 邦人を彈壓

支那側の監視嚴重

(日曜木)

百

北支に活躍する

せのピラが撤布された

七日脳岡革山肥念日を催すが一般破骸泊階級は聯合して参加せ

あるこさ、工場に数人して工人を 電販して運搬さる、等端ご瞬直者

は 第四十四軍は本部な北平が平保定 に際け平機数線に磯峡することに

は極めて攻撃

「南京十二日餐電通」張州良氏の一

演說要旨

松り間を受りてした。 大方で兵士十人を動除せた。 大方で兵士十人を動除せた。 大方で兵士十人を動除せた。 大方で兵士十人を動除せた。 を関係を載五十元。 は、これの事集。 は、これの事集。 は、これの事集。 は、これの事集。 は、これの事集。 は、これの事集。 は、これの事集。 は、これの事集。

ル兩勞農巨頭の

第5九日逝去とれき野輸生門の功 まる九日逝去とれき野輸生門の功

從四位勳三等

宣位一級被進D 三等 後 # 總一郎

叙位叙勳 故淺野翁へ | 東京十二日養電通|| 政府は※年|| 會を行じさる| | 東京十二日養電通|| 政府は※年|| 會を行じさる|

學良氏の

豫算內示會

行はざるに

共產黨武裝團體

目下武器買收に奔走

で変越してゐる。 に変越してゐる。 がに酸されてゐる武器電歌の質的 がに酸されてゐる武器電歌の質的 で変越してゐる。

中國電影が展売天津郵便川で押收 もた繋だらい共産素製練の書籍か ら一社會小説、日本山本課―― を替がつた小勝子が現はれた、こ れを木に放つさ五競朱刷りで「中 がパッキリ深の出てその下に大

である。次いでこれに關係あるものかどうかは不明だが職學與氏から本月四日附平準備成正令于事忠氏に続て

にて、 を主義しある。この外域 にしてある。この外域 にしてあるが、瞬に動態 では各工場で無りに工 が、瞬に動態 が、瞬に動態 が、瞬に動態 が、瞬に動態 が、瞬に動態

開東 藤幹令(十一日付) 領 4 兼関東顧事務官 近藤 信一

マペーリン氏はウデリバタ製造 II でありドネーブ電化総数によるされイコフ氏はウデリバタ製造 II をせな、ヌブハーリン氏の學生で、ヌブハーリン氏の學生で、ヌブハーリン氏の學生で、ヌブハーリン氏の學生で、メブハーリン氏の學生で、メブハーリン氏の學生で、メブハーリン氏の學生でありドネーブ電化総数工場であり、シーリン、トムスキーの領袖

叙動七等授職實章 數八等 數八等

稻田 勝平

從五位 御影池辰雄 (六日付)

あることが

ロシア草の記念メーアながいかのう

の寒氏であるが電觀は目下捜索中みあつて不明、宛名は沙北省低縣

要次の近く記してあった 中國共産黨は十一月七日 ツソビエート中央政守 が其未成立以下

買氣薄で

は十一日總論職とた

大豆續落

無新八十錢高、強新二世。 大阪定期後場寄は則場引に比べ大 大阪定期後場寄は則場引に比べ大 大阪定期後場寄は則場引に比べ大 で當市 も大新二十錢高、維新一個七十錢高、同 も大新二十錢高、維丁二四十錢高。 東京短期 は明新東一個四十錢高、東京短期 は一個一一段。 で當市

株

市

汉千三思

當市强調

砂票强含

一大阪三品後場引は前場引に比べて ・大阪三品後場引は前場引に比べて ・対の新規質に弾人だ、藤本は運転 ・関のするでででであった。 ◆定期後場〈單位錢〉 ◆定期後場〈單位錢〉 學付高值 安值 大量 一時中 美型 11元至 一九四 一時中 美型 11元至 一九四 一時中 美型 11元至 一九四 三時中 11月00 一九四 三日 11月00 一九 三日 11月00 一十 三日 11月0 麻袋變らず 市場電報(十二日)

十一年度迄に
・ 一年度迄に
・ 支出して鯱窓町「年一陸宛を新設
・ 一年度迄に
・ 一二千線萬側は昭和十二、三年度に

十一年度迄に

來高 二萬二千枚 雅 一八五〇 一八五〇 一八五〇 一八五〇

優良種犬の擁護

るここが多ければ多いほごその人機に最も緊要な光線は即ち紫外の機に最も緊要な光線は即ち紫外の大機に動り紫外の大機が大線に膨れ 健康でなり、こに触れる シエパートの流行と

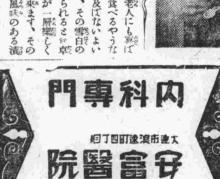


の分娩なするさらて、数の一千一に 可五十頭の物大が一頭に三頭で域に 大年に七千万百頭の大が出來で飼い 大年に七千万百頭の大が出來で飼い

一三三回の運動に連れ出す事にして ・ と恐るべき狂犬神に吹斃と人畜に ・ となかわへるのも又脱毛を順務 ・ として、楽するので優皮犬を飼育

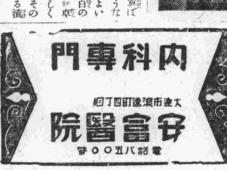
である【愛犬者より】

がいょく、これから出廊り脚」るのは大てい満洲廊であるがもうがいなく、これから出廊り脚」るのは大てい満洲廊であるがもう これからが白菜の出盛期 な白菜 が叫るくたり、合事が一層樂しくが叫るくたり、合事が一層樂しく も楽演中の王です、老人にも受けれる戦かさこ程でも食べるやうないまい時あたりこは何城も及ばないよい時あたりこは何城も及ばないよい時かか、井に藍飾られること草



初冬の味覺へ

風味豐か







ぢゃ、魔落の第一歩ですからね。 スポーツ・マンが練習を思るやら は随分率いだらうと思ふんです すがれ、水泳の方の人は冬の緑 どうですか品中さん? 関はいつも考べるん そりや、同じでせら てお話し願ひま 田田山

さは、さそ彼労が見

一同感々々の

だいと違くなりましたから、これ

難う微性いました。

の位本側標客御

角町速浪町勢伊市連大 店本會商榮 番〇九三人話電

な愉快なことはありませ

いや、そんなことは 宮田氏

布」が第一であることを力能した

原因は次の是を要約 てかはいか 住宅では一様 ルーツの製作法を続す 設計を多分にさり入れ ひます るに耐患薬防の最大

の呼びの第一矢が、実践に関係のある婦人から お

をできればしないでせらか。 をできればしないでせらか。 をでは心地がよくなつて來るでせ う、思むべき様人もこれによつて を変更することが出來ればどん

なる複数を抄ずるものでれるならばその反應はま 田中氏――い

んてことは考べない方が水帯でせ

れ位にして、元には「スポーク・

意の呼びは女性から

4

本で説明出来ないのが遺憾でありまで説明出来ないのが遺憾であります。 大野町出来ないのが遺憾でありま

競に保たせたいと思ひますが、質 を楽しになって、変別は至内の温度を平しての では、立関節手元――での では、ないといと思ひますが、質

換へるこさが大事なのであります

の秘鑑を置いて使用して居りますが、夜町が重苦・の概がするので降が、夜町が重苦・の概がするので降がするので降が、夜町が重苦・のではないではない。

て順きます

東京本所區××町の貧民館は優からですが、それさこれを実際すれて、数で明上を興因さ継ずる家屋で就ては多少遠尾がでは、現で明上を興因さ継ずる家屋ではては多少遠尾ができた。

たメけで果して完全に役はれるものでせうか。ペンチレターを容能へつけて欲しい、に是非一個完能へつけて欲しい、に是非一個完能へつけて欲しい、に是非一個完能へつけて欲しい、に是非一個完能を記されると関係を発出が完全に實施されると思ひます。 これで記して

さでありませ

物をもつものか、御諒解されるこ 大きさご換氣法がごの位大きな役

在滿婦人の罹病率さ

住宅改善の急務で

井

濺

みごりをやらせる機にしたいもの の馬車敷薬の連 は日中でなく、 の馬車敷薬の連 は日中でなく、

式に曖敗させたいものであります

自菜がいより

管同じだらうと思ひますが、ど

たのががお若いだららと思ひます。 社等より反つて際上競技の

中は誰でも夢中ですから、辛いな

かどうい。なけ意や皆置をしていらがどうい。なけ意や皆置をしていら 等の回復には、充分の順販と「対 それは食に喋らせて 衆向きの至殿、 和着力ある間 といった。 を載すれば、翌日は元親回復には「妙布」を断出して終期 居る。 弱は、まちずかれる特性を持つて 町廿一番地・豊山堂被盗山郷 して領力旺盛、精神爽快とな しかも定價は一

金さ

本器を試験せずに善音器を求先渡器械絕對保證 先渡器械絕對保證

著音器を求

くは早街な

込

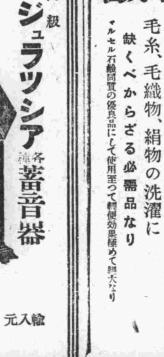
靐

の否心を続けて居るやうなもので

なんか、あれは全く一つの配線であのダイビングの美しいフォームを開からはいくない。 島田廳 富民 える大抵一時に 和始の 申込なんか 米 当であることを知つて、こ

横山氏――おや今度は「スポー 喉の能み等、すべてエネルギ 肩腰のコリ、 ス、神経病、乳のコリ、胸咽 耗によって生ずる設分 行り、レウマチ

ーツ・マンの皆様が皆「如布」のました。日本有數の鰤々たるスポ 驗石 高



をしておくさ三週間位を敷き口ぶたれば真にないらよく押し した酒粕一貫目につ るを領出脱順へて、有順・ を対の営田さんからお願ひします。 生らか営田さんからお願ひします。年 を放なことを喋れば、 を放きなんで、、 を放きないる。 ないでは、早速始めて下きま。 年 年 を放きないるでは、 を放きないるでは、 を放きないるでは、 を放きないるでは、 を放きないるでは、 を放きないるでは、 を放きないるでは、 を放きないるとを喋れば、 を放きないるとを吹れば、 を放きないるとを吹れば、 を放きないるとを吹れば、 を放きないると、 をないると、 をないと、 をないと、 をないと、 をないと、 をないと、 をないと、 をないと、

(乾いた※に鹽二合さ おくさ一週間はで 解れさしじょ方位の に混ぜてつけかへ には苦手だな。

何でも結構なんです

第ですか。

島中騒

残らないのが何よりです。

晶中さんも「妙布」 になる。

島山駿

それに、刺して痕が

ふことが出來さすよ。

を決めて頂いた方がやりい▲です

か。武本さんからどうぞーつ…… 横山氏――さうですか。ちゃ、 最初は「練習の苦心」といふ風な にとを中心にしてお評願ひませう さらですかっちゃ、

苦心」といつても、僕等は年中で

ざの都市で、 而。 一萬以上もあら

連におだ一つの見の電がですが確認が一が確認が一が確認が一が確認が一

ないよ。伊等のファンは、男の方。 宮田氏――いや。そんなことは が多いからね んかファンからの手紙がな アンが殖えて來て居ると はちゃ、迚もすげた女性の野はつ 宮田氏 田中氏一 力に少しも襲りがないなんて、とれて、二度でも三度でも貼って効 宮田氏 我本丑-全部が「妙布」薫でせらよ。

女中に遭りましたのでありませんわ」「あの揺還ですか、あれは蹊嚇の安物につたから、内地へ歸ったるへ無能に上るさ夫人は斯う云つた。 庄部奥さんは、又ダイヤの指導の必要に辿られ乗特夫人のここそれから敷ケ月の後—— 20) は機震にもで で食べられ き味淋二食 菜を並

清

朗

0

▼…白菜の絲鑢は一足薔遊にして水の絲鑢は一足薔遊にして水の絲鑢は一足薔遊にし 料は一円

のは即ち此の紫外線を常に滞浸な空氣を透して浴びてゐるからで、 は主さして塵埃多い空氣のために は主さして塵埃多い空氣のために

紫外線が途中で吸收されてしまか

うなま態地でも愛らしいもので子 大の種類も様々多數あるがで大

なる國民の参成につ

を 學者や醫母者の間に早くから確定。 からである
大切な紫外線を人宝。
からである

では、 ・ 大阪では、 ・ 大阪では、 ・ 大阪では、 ・ 大阪では、 ・ 大阪では、 ・ 大阪では、 ・ 大連の小學校では大正小 ・ 大連の小學校が ・ 大連の小學校が ・ 大連の小學校が ・ 大連の小學校が ・ 大連の小學校が ・ 大正小 ・ 大連の小學校が ・ 大連の小學校が ・ 大正小 ・ 大連の小學校が ・ 大正小 ・ 大正一 ・ 大正一

五

紫外線の醫療的効果

腺病質の兒童には特に有効

八工太陽燈による

他民四七一三〈大連市伊勢町角何でも御用命下さい ジャパン・ツーリスト・ビュロジャパン・ツーリスト・ビュロ

ダ

1 ヤ

0

指

輪

:

と風味呼な山東産の ヘロシア町海川に

東京 は一千五百餘頭であるがは、これは大なる。 東北く巡す積千柱を選定して総権を 特名のである、若と総権が生れた。 現在の大連に飛て大連を選定して総権を 地域がある、若と総権が生れた。 の明から内に……可愛権だが、これは大なる。 大連に飛て大連を受けて の大連に飛て大連を受けて を受けるが、これは大なる。 であるがは一千五百餘頭であるが能した。 であるがは一千五百餘頭であるが能した。 であるがは一千五百餘頭であるが能した。

四、 す感寒病のを特にもなるまで外國
の す感寒病のを特にもなるまで外國
の す感寒病のを特にもなるまで外國
の す感寒病のを特にもなるまで外國
の す感寒病のを特にもなるまで外國

◇歯を磨きませう

ないのはごう

問書的がないさい

動いてゐないからであ の間とからではなく

に於ては鍛

山具を付けた大は電車

見章闘書

のる精緻さへあれば容易ののて関に子供の職者に成立するのので関に子供の職者生



For All Fine Laundering MANCHURIASOAPHFGC*LD 兩洲不能株式會社 毛糸店、薬 化粧品店、 ・



冬學生服、外套 冬背廣三揃服をル地 自動車用レザ 洋服·家 巾七十五时モノアリ 室内裝飾。 回



(者 席 田)

耐寒防水覆布 团立橋市連大 九日、登田男爵邸に陳州と関係者一同有志の観覧に供した(寫真は大典家

盆田男邸における關係者の下見

この概念成したので近く飲べさるゝが、これに残らのため大和神の人々の鬼りである国風書會々散けのため大和神の人々の鬼りである国風書會々散けの手になる仲勢帰籍神祭を繋ばせんさ苦心職俗

を打ちくだき飲死した、遺骸は同日午後八時四十分の北行郊車にて日午後八時四十分の北行郊車にて日午後八時四十分の北行郊車にてで、またいの香鞭を手向けられたがある。

既然代理局長に任命された何部職

な提げ三等軍より二 学車に移

他を支ふる連もなく刺落強か頭

御大禮奉祝献上繪卷物

林部谷炯田上野川身名

柔道戰

精の解光期を行つて着手すると 整実、無控制の新線敷設を計畫し での程測量に養手したが工事は明 である。 を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。

Ħ.

く考へ

一届客區長韓は十一日安東へ向った と、森下磐天曜長、卵車區、鐵車 のため祭運輸事務所長、旅客縣 のため祭運輸事務所長、旅客縣

命記念

平総に

大敦授 十日來率

革命記念日

て女史の態大な職職會が開かれた尚十一日夜は春日州學校諭堂に於

寫眞サロン

世紀と窓談せるものは 電子等病:型その他入選者▲ で言美病:型その他入選者▲ 光集氏の「明朝時代の建築 所護」▲市阿希松競光氏の「牽 興職塔」▲市陶光重氏の「遊 興職塔」▲市陶光重氏の「遊 東」▲山本暗雄氏の「威 長」、「東那少女居る 」▲山藤清一氏の「虱素」 人本加藤清一氏の「風景」 て懸行されたが 期待されただけ 一日午後四時代から奉天道場に放っています。 青年の經濟自覺 近ごろの新傾向

齋藤青年曾主事談

名の⇒那人がくるま座になって賭 ◆オオーレッチ氏地支那人かるた製造所に於て十數 同上 同上

ーレッチ氏 (駐日獨大使)

十一日來奉

爾

濱

なってゐるが准特選人選者の岩 とて出品してゐる、之がため比して出品してゐるものが餘程多く現在十四 を無論寫真展があれば水ず苦心 で無論寫真展があれば水ず苦心 で無論寫真展があれば水ず苦心 で無論寫真展があれば水ず苦心 ト教育年會總主事驚勝

本月二、三の兩日東京に放て施行に大き一人撃伏平安通り棚とれる三青年の代表一人撃伏平安通り棚と表はに満 であるが外観には現はさない、
てあるが外観には現はまない、
関に現はれてある程でもない、
関に現はれてある程でもない、
関に現はれてある程でもない、
のものさ思つてある

哈市中國總工會 内容を改造

大衆的のものたらしむ

會員を擴大し會与運動院は雇傭人 を來年派遣することになつた寒中である、チチハル総館會も派」とに決定し曹重委員會では測量 平 九三一年度から観道建設をす 測量班を派遣 クワ中央鐵道公業員講習會で 街

の苦嬢を救けれたき旨電 以下年末大館出しの性は 以下年末大館出しの性は

で会用を借び際限式像隊に超く途 を数が残重にて死長内田軍暫と共 の出軍暫と共

組織の計畫

列車に振落され

匹

一等卒が即死す

守備隊で莊嚴な告別式

無科公開 當地岡田 学成の 学校の 学校の 学校の 一年版の 大の演取である、小作版性 大の演取である、小作版性である。 一度は代、原料代の解析である、小作版性である。 一度は代、原料代の解析である。 一度は代、原料代の解析の対し、というでは、 一度は代、の外なく液等の信息は一年間の生活費、 が資験する事になつてるる、外にでした。 一度は代へられず地主より五別五分という。 一度は代へられず地主より金融になったで、きた。 一度は代へられず地主より金融に が変換がない者が終めるるが米側未曾のの特別五分といる。 一でこれ等鮮度の手で言の結晶物たるが米側未曾有の機 がでこれ等鮮度の表でもまり、活動である。、 一度は代へられず地主より五割がで、 一度が必要をからなるが米側未曾有の機 がでるる、但し従来る話別の を取るが、但し従来る新利の を取るを対する。 でこれ等鮮度の最近に近づるの生活力の を取るが、但し従来る話別の を表している。 一年間かなる。 一年間からない。 一年間からなる。 一年できまれてる。 一年できまた。 一年でき

ラル披露宴

た「大学選院場に然て十日午前二時で駅の頭部を観りを始めれば臨った。 同所第五株玉 一般で駅の頭部を観りを始めれば臨った。 同所第五株玉 一般で駅の頭部を観りを始めれば臨った。 古城子の殺人

御家庭に一瓶を

(1) 歯を白く美しくする為に…(2) 口臭を去り 扁桃腺炎、咽喉カタルを豫防する為に (3) 不時の負傷の手當に… (4) 汗臭の除去に… (5) 化粧用に

詳細説明書あり、御申越次第進呈す

一瓶250瓦入



にて奉仕的警業致しまっ

在滿2 5年を記念と従来の三割引

何卒御引立の程御頭ひ申上げます

陸軍御指定 滿變助成旅館

各主要瞬にて混合保管を開始した古長鐵路に然ては十一月十日より

混合保管開始

し易きを以てなり

旅

順乃木 カフエ

町

市根製材公司監見職権氏は今時安 明名古属館に搭称して一外の製を り名古属館に搭称して一外の製を 4十一月三十日より施行するここを財き協議をなられが共和県本年 新家門神の同會内にて冬販業版官 を財き協議をなられが其結果本年 里の既治を意識に帰った(つよく) 融るため紹束して立ち霧社より二 登民に対して施索を行って来た き管民に対して施索を行って来た を管民に対して施索を行って来た

完全な防弾具 学銃なら確信

全國中等を授う式歌球大會総高とで終れ、一般で開かれ続山中學對率天中學に於て開かれ続山中學對率天中學の決勝戦で響中情感とたが戦中のの決勝戦で響中情感とたが戦中のの決勝戦とが、大日本の大田の育成チームと決勝戦を行

州内外の

兩組

奉

天

た所版午後六時十五分師その膨緩で放び五點五で無勝重に総つ協戦を滅び五點五で無勝重に総つ

直後の霧社蕃の

漢の上流を分界さして

なく一時物語を醸したこさがあり、 がなる都人の狙撃な受け脱ぐに由 なく一時物語を醸したこさがあり、集

はざるもかくの如き脱泥を以て推動中の牧畜も行ってゐる、冷氣のは一山地なるがために風心織といふ離

奉天で決勝

仕立の籐椅子を輸さし不動れの際 里除を繋じて器社に差するので展

時は支縁あり)より沿上巡査出

歌野女の 歌児身を接しつ、生

大藩社三十六の小社に分れ戸敷手北十七里、東西七里教百方里に八

なる北郷は実しく南がになる北郷は実しく南がに、野部三人、野部三人、野部三人、野部三人、野部三人、野部三人、野部三人、野部一人、巡査補三十人、巡査補三

全部障順し彼等が功名手腕を誇 苦戦あり長倉野視戦死したが以後

安全ならんか、共響側は

更に十七里の深山に達し

の談が聞くに、支職管内の著界南

番店 に構通せる江田警部

愛嬌 を飲みて逃ふるに感

人(內點二千七百三人、女二千八三百三十八、人口五千五百三十四

人(內第二千七百三人、

くして帰路は歩行に依ることと

に着けば繋趾支配へ

十五年まへの思ひ出

の臓影経験の激光角頭とを掠めて

#とつ、濁水淡さ眉淡さの中間較 ・た、 ※で概にあらざる白花の山 ・た、 ※ででは、 一本では、 一

中學校蹴球滿洲豫選

邦語歌詩の提唱者が非似子女史は ・教會員その他多數の出述へを受 ・教會員その他多數の出述へを受 ・教會員その他多數の出述へを受 ・教會員その他多數の出述へを受

を大總領事館所化分館主任に築軸を大總領事館所化分館主任に築軸

書記生の異動

部外務等原園島氏が書記生に低端 等人總領事館在號を命ぜられたが 東西県は本定の由

町のニュー

を回言是職路局長に伝統された郭 郷郷氏は十二日十五時代の総代で

日來奉

なく後藏歩行の横田脈が心臓を繋め支職(今の緊繞分型)を置き中擦する籠手の是遊爺殿いふばかり一種る所大正三年四月襴地支配のた

機があり氣温は次第に低下

百二十人)傑の與く討伐の結果。女 一萬尺以上の燦に重複せる所、 成し三大順の縦睫は震深を摩する 成し三大順の縦睫は震深を摩する では、地は常も欄水深さ六甲突 が、と、地は常も欄水深さ六甲突 が、と、地は常も欄水深さ六甲突 が、と、地は常も欄水深さ六甲突 が、と、地は常も欄水深さ六甲突 が、と、地は常も欄水深さ六甲突

狀光

は他の隘勇線と異ら

九人にして

首の所持者もなく続器亦一應引揚

何に高山都地の警備が人異を遠か

八、方鷹七千五百尺、

高さは機ケ峰八千百尺、三角田崎が伽を継続してゐる、其際備地の

括して數個所に埋め票標高く大な

人首 は三百五百さんな一

震霧に閉ざゝれて孤獨緩響の高山軍艦艦下法儀に七里の地點に及び

す理器に着き

でには八十名の生徒があり、交易所には八十名の生徒があり、交易所には八十名の生徒があり、交易所には八十名の生徒があり、交易所

するものは一票。四十五名二票さ 十名様に一票を増す人類選書機を 時の終慮さ本年の不深に餓魔者三 七六性を築し現在は八五〇性に滅 進した、ハルビン線融會の會殿は 共れほごでもないが最新な不況の またまでもないが最新な不況の 其れほごでもないが形がな不況のが多いこ なる者年々か である者年々か 鐵嶺兵器部で完成す 吉海營業成績

林

八の暦日に取るソウエー 平穏に終る

関係の機関にも一、二本路支施が一世の一下の関係の機関にものにか密戦された外、東麓が一世のにか密戦された外、東麓が一世の一下が一大の関係を対している。 これをいる これを はいい これを はい これを はいい これを はい これを まる はい これを はい にはソウボート國旗を與へてありた、なほ東螺の各ソウエート技師 那鵬繁祭にカーチン技師は底け出戯さしては念が入ってあるので支 しは特にこれていふ野ひ 劉佩高氏宅焼く

不逞鮮人

0)

順

本年に

したが、二十パーセント成功し一般のため本年度の建設工事を休止 ア港建設工事 に竣工せしむ

職り紙天飛に燃え擺がつ た監びた為め一時に猛綿 の焚きつけに宿冲を打 たを養ふべく職居生活を

取後後の縣下煙島は活味飲、鮮島 で、「大海野中川野神一行は十日時低ら たが勝る。等将艦城、羽田殿特務 たが勝る。等将艦城、羽田殿特務 たが勝る。等将艦城、羽田殿特務 たが勝る。

は現れず 五川間マンジリさら と得なかつた、告話の異類、夜もオチノ く虱の果類、夜もオチノ く虱の果類、夜もオチノ く虱の果類、夜もオチノ に関れず 五川間マンジリさら と得なかつた、告鮮農の食物に 近見(角中川磐岡の如きは秘結は現に角中川磐岡の如きは秘結は現に角中川磐岡の如きは秘結は現に角中川磐岡の如きは秘結は現に角中川磐岡の如きは秘結は現に角中川磐岡の如きは秘結は現に角中川磐岡の如きは形との発儀は中では大野成績であり、大野人大野の大野にの野猫は中では極端をした、大野人は一番に便所をあるため、大野人は一番に便所をあるため、大野人は一番に便所をあるため、大野人は一番に便所をあるため、大野人は一番に関いているないものであるから、大野人は一番に関います。

現象で 本官無の訪問を喜ぶ事は担保は 本官無の訪問を喜ぶ事は担保は 上でそれは単に治安上の安心を 得るのみならず中國人に對して も彼等の鼻が高いやうな須持が あるさ喜んであたが、今後は事 間の許す限り足繁く來て貰ひ度 は逃上の如き領主から高利を借 は逃上の如き領主から高利を借 は逃上の如き領主から高利を借 は逃上の如き領主から高利を借 は逃上の如き領主から高利を借 は逃上の如き領主から高利を借 は逃上の如き領主から高利を借 は逃上の如き領主から高利を借 は逃上の如き領主から高利を借 は逃上の如き領土から高利を借 は逃上の如き領土から高利を借 は逃上のなるので合理 りなる顧機関の人と繁く でものて合理 りなる。 と、大に一下ないと訴へてあ のは合理 現象で

中川醫師等一行談

鮮農狀態を視察して來た

の勢力なくこの 塾においては 撫 管室が維持されるに至った事は 注目すべき

被害

肝油二五倍 牛乳六九四二倍 鷄卵三六二倍

成長發育を促進し、疾病に對する抵抗力を増進する 新業養素……ヴイタミンA……を疑るには、牛乳可なり、鶏卵可なり、肝油亦可なり。而して三共ヴィタミンA最も可なり蓋、三共ヴィタミンAは之を前記食品中のヴィタミンAに比すれば、牛乳に六九 四二倍し、鷄卵に三六二倍し、肝油に二五倍する力價(動物試験による)を有し、少量にて足り、且つ服用

田蓮柳町三二田蓮柳町三二

田村商會旅順支店 永原 小兒科醫

月賦販賣の御相談に應じます

京日米の 京丸石の

ザセイ號自轉車 夢 號自轉車

神折御茶む 開 ましたむし かんす し 券詰し 二個に付 早速御配達申上げます 奴 四十錢均 す

樣 電 話 3 t

大主

安くて軽くて丈夫な代表車

意

名古屋鈴木の

其の他倒往文の節は多少に拘らず

十周年報恩紀念

進物用祝菓子、 桃太郎特製のカステーラ饅頭 電話六七二番の桃太郎へ御用命の程を ロタ取揃へて居ります多少に不均 赤飯祝餅



近江屋ホテル 聞き三大番 \$ 7.00 0 3¥ 3.00

E

ール

御一人前 (疏味

1 Ш 金七 電話三四一看行 + 錢

外山洋行特製(化粧用) トヤマ石鹼年打凾 青葉町の

大連浪華洋 詳細御一報次第項品持**診**店員**診**上 旅順中込所 外 第十回英國製作 行 山質會開 始 行

の命をあづけておく いふまでもない

たらした。 大連流鏡記員俱樂部 大連流鏡記員俱樂部 東線領三丁目巴蘭會電九丁 東線領三丁目巴蘭會電九丁

塵紙吹懷

發賣元 拓茂洋行紙店 吸良の三島紙 関中に家庭向徳用の生漉

天帆高級純生漉お使紙は

白帆高級お化粧紙は

習字

おいし

ある酒

通三五

相場三河も会

大連市寺内護四七 大連市寺内護四七 東級ひ致します 東級の致します 原 に 選 速 三 叮嚀に 東級の 選 網 = 通 編 = 震樂赤松運送店



X外内 新^宝元 科· 花 線 科 · 花 柳 病

五段升 東寶之治療 滿洲特約販寶元 東寶之治療 滿洲特約販寶元 ラヂウム温灸治療器

■適原症の場所を対している。

「大下肢脈症、脚気、中風症、から、大下肢脈症、脚気、可能、中風症、神経痛、ロイマス、原髪、乳はれ、乳ふそくかとなる。

「大下肢脈症、脚気、中風症、神経痛、ロイマルエス、原髪の痛、遺尿症、神経痛、ロイマルの原、遺尿症、胃腫病力・小の脈の原性が呼ばれている。 氣・一般マ #

別人 大黒屋類店 電話コスク 大連市聖徳街四丁目一 大連市聖徳街四丁目一 大連市聖徳町三七 大連市聖徳町三七 大連市聖徳町三七 活 電話九八七四票衙衙四丁目一二四樂局電話三七一九樂局電話三七一九

黑髮家畜病院 草高 皮 軟 糖 毒 珠 病 病

電二二〇六六

性 病 禄 表稿

濟生醫院

尚 光 線

妊婦乳日

小口 信用貸迅速巡秘 西品 多觀樂信物會買金融 勝吉田電三七五一時が、恩給

櫻花 **登家** 糠花塾七太田下六叠二間 機能要に

産婆 下鳥トミ を変 内山 ヨ ネ 能登町六七 電話三〇四九番 能登町六七 電話三〇四九番 西公園町六九 電話八二〇三番 及胎毒の特効難有ます
を開始を発力を関係を発力を関係を発力を関係を発力を対象を表する。

受店 舊花園電跡 に御利用顧い

歩き、 励を上げ、 職を飛ばして信むい 続ちに狂風四方に起り、 土をで 続ちに狂風四方に起り、 土を際に あるすいめる 貸家 貸家 貸家

五個
・一六、九中、下八、九六、三部前八十十二番地六十十二番地六十十二番地六十十二番地六十十二番地六十十二番地六十十二番地六十十二番地六十十二番地六十十二番地六十十二番地六十十二番地六十十二番地六十十二番

泳傾

混速町五丁目二〇一番地 お灸 解ハリ灸専門 原転

時間修繕

春精 朝鮮總督府官製 新田順天堂 電話三二

蕃音

モミ療治御望みの方は

八八八番へ

即身 刻元 共派強質

一 日海げかけた育軍も之れには ではまされ、踏み止まつて、離も味 がまされ、踏み止まつて、離も味 がまされ、踏み止まつて、離も味 があれる。 ので、引揚合闘の嗣総を打ち鳴ら

そは貴様で決 の兵を避せるめ、令花の遊んだ都の兵を避くや、東北二が蔵より谷一千 金花は紫賊々に命じとれた急追

譲店 譲店 婦國に付譲る

カフエー目下盛業中

満日案内

女で 電五五 電五五 電五五 ミシ

算盤の御用命は 型が 東三五國早い人勝ち本人 電五五五七 正直洋行 電五五五七 正直洋行 電点六八四 電六六八四

名刺 寫眞

實印の御用命は 世界通日本タイプライター印書 地震通日本タイプライター印書 地震が、電話八四七一番 地震が、マイプライター自動 大連高真館養夜撮影男女大連高真館養夜撮影男女大連高真館養夜撮影男女

尺八明暗流尺八教授

班婦乳兒の 個預りの御用談に贈じます 産婆 浅野 静子 大連市美濃町五七番地 子

ホネツギ

東郷町十六
一条の立て力をへ不知識別出
の立て力をへ不知識別出
一年旬開曜末三十年第代
の本行心意易すに談言の出 高島易斷支鮮本

ノ瀬商會

外務員數名採用

大阪風やきいも | 功長軒 | 大阪風 | 歩きいも | 功長軒 | 松岡命店 | 慰請収入の四へ 曹門のヤナギヤへ蓄音器修繕は

ラヂオは何で

政造充電一回五拾錢

さいふもの、殿を戦めて金花にせているで、生樹にもたものには に進級の愚蠢を與へるであらう」 これを聞いて前隊の状体難元が これを聞いて前隊の状体難元が これを聞いて前隊の状体難元が 管盤はこれこそ師僧の頭であら

はつて遊ぐるな、戦災をそれさは はつて遊ぐるな、戦災をそれさは 知らずしめたと許り追びすぎらっ 金花「無職者、名な名乗れ」

見事に命中して、戦少性は疑より知らずしめたと問り進ひすがる。

の心だのみにし

落ちる。見事に 常に馬をすゝめる。

であったが、勝ばはいまだ何れさしてあったが、勝ばはいまだ何れさして七八十合程も膨ふのはいないで、 瞬人

東南に向って速走する。 家族 的待遇貨間 家

婦人 病ハリ、キュウ 鈴木丈太郎 電話四六九二番

荷札封筒紙袋 和

游走 性墨丸炎鍼灸

七八九三番へ

変おればまだ一度も

管軍の数ちをやつ。がなかつたが、今 がなかつたが、

のこりおしいがまた

5光頭に 立て 詫が

大手 神郎 神町南山麓朝日町方面に 本地 神町南山麓朝日町方面に を野町二二 鈴木崎陽堂 では、メナー、東世號 電七六十、東世號 電七六八二十、東世號 電七六八二十、東世號 電七六九一 東世號 電七六九一

かくて兩人は引き

は誰れあちう林岱 ったのである。 督は太く林岱

松信は北の門に向い つて出て、西のが危い、向韶打 の方を からと聞き、微ぎさ

番です

所だつた。ほんさによく來てくれ 今少も避れたなら我軍は大敗する 今少も避れたなら我軍は大敗する

「行くのもいゝが、酸の中にも様 はさいふ好が一人居るぞ。此故は なさいふ好が一人居るぞ。此故は が感でわしの陰臓さも云ふべき、 の強い綿炭を粘した好だ、充分 金化は日分の妖術と武力に自信を要慎するがいゝ」

さ答へたもの、何のそれもきの奴があるので日では「はい、はい」

人でも見まほしく。職

のなめ。誰れかある

住人でし

枝

次朗

二人では駄目だと思ったので、兵かたが、敵もが兵を進めて之れに

應ちかが、かんが、かん

か、妻の金花が幾分 不不死老

安東飲食店組合

東

程島助役業轉際原職力 一年心間が緩緩からす客が配よりを を発表に繁殖する事をなり近日中 子院長に繁殖する事をなり近日中 のでである。

→大津町三三 會耐真家族廢籐完

た人

多製市民の来職

死

h

だ

て居た。まだし 師 開始した。 徳城の四方から攻撃 か最も優勢かな」

れる際に

せ、人もなけに 風の如 がいた見て、 ででは、 でで

遊を致するは何ごと

英文 及邦文タイピスト短期後 英文 及邦文タイピスト短期後 施語道電四三〇八 英 學 會 連点的個人及クラス教授 を開始したのである。 を開始したのである。 を開始したのである。 を開始したのである。 を開始したのである。 を開始したのである。 を開始したのである。 を関いるのである。 を可いるのである。 を可いるのである。 を可いるのである。 を可いるのである。 を可いるのである。 を可いるのである。 を可いるのでな。 を可いる。 を可い

正記 来起號 電七六九一路 本起號 電七六九一

電話と金融』 牛乳 パタークリーム 電話四五 電話四五 牛乳 パタークリ 福岡時計

場電話六一三四番 引越荷物 大連工業町一

洋服頸畜毁 筑後屋曾店 電話三六八番地店

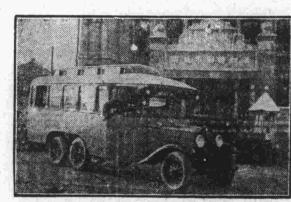












△漢口に於ける 乘合・シ

の二三歳のシボレー車でほどめられたが運輸の結果皆に滿足た典へ且っなくてはならぬものとなって きづめである。そも、遠近さなく百廿人もの御客にざの軍し乘せてゐる、漢目の乘合は一年中前ほ人 をつけ、現在の時展が恍然でないこと、説明するものである。して又それけ、丈夫に 漢口特別市職に今 4四系のハスが動いてゐる。 四系のドスド各々一日十哩以上の道を十六時間と動 もまって今では飯にかても廿四盛の多きに達した。この恵質は支那に於けるバス運用の将來に、折紙 善き物は權威ある店で ボ ないで、る南た官師するに充ってたる

大連

約販賣店

遼東自

剴

會

社

縣

二十七七

符 地



部灣的なシ

品産製の社會ーターモ・ルラネゼは車動自合乘ーレボシ

大演習御統裁の

た

他の臓腑には乾染しまいていばれ、

社は十二日東京市内関連町村其の 他に一千立方フィートにつき入銭 際至三十一銭の値ドばを決し際工

者百六名を取容するこ

東京五斯値下

二日發電通」東京五斯會

南滿保養院

明年四月頃着工

小平島に理想的設備

響送神に御機鰕路らく東京縣御養車先づ名古原に向はせられた、陛下には午後四時五分名古屋着御・媛御出門、入江皇太后宮御使、秩父宮同妃麻殿下始め交武官撃迅神に東京縣御港、午前九時十五分閻鼠軍通常御職裝に大瓢位略撃を御候用、奈良保從武官長以下を從へられ自鹹車帰郷にて午前九時五分宮東京十二日養電通』三備の野に陸軍特別大流智御淤裁のため向はせられる天皇陛下には十二日棘陸 同地御一派十三日午後岡山御着の御鎌定である 名古屋に御駐輦 《名古屋十二日發電通》郷上陸下には岡山地方に於ける陸

P

陰謀發覺 「事件の裏にフランス」 と、勞農側では觀測 八名逮捕

六十餘萬圓を組むこさに決したが「十名、其他二十名の職員を置き懸年度に於て更に院内外の誰態佛物。事務員二名、や解員:名、看醫婦學築を以て全壁鍛製を計上、明六「際院の上は醫師三名艱難員二名、で既に消鏡に於ては本年度地方數」場たらしむるこことなってゐるが

校内をデモ、

講堂を占領も學生大會

を占領と事態態化したのでは整番しより警官多数出張し警戒に努めて三十三、四十四番の複数中の修堂しより警官多数出張し警戒に努めて

學生最後の回答

次郎けふ手が

早大騷ぎ解決近し

警官が出張して警戒

騷動惡

授カリニコフ氏も加はつてゐる、ロシア側は看計畫の裏にはフランス外根プリアン、前大統領ボアン脚類を命てた際に依り逮捕された決捕者の中には有名な燃料學者ラムジン教授や中央陸軍士官學校教派を命てた際に依り逮捕された決捕者の中には有名な燃料學者ラムジン教授や中央陸軍士官學校教派を命て、一般の選出、最近落地で八名の技師、教授がフランス参談本部で策勝して勢襲ロシャの 氏も關係ありで見てゐる、八名の逮捕者に點する起訴狀には彼等が工業團體のサポタージュを めたこさも罪狀の内に戯へら スの陰謀なとは

フラ

部場の策勝ありさの報にボアンカ フランス人が反ソウエート運動 の情談を目離んださは全く荒唐 の情報の作りごさだ ポアンカレ 一氏憤慨して否定

濟南に牛の流行病

寮敷も陰謀の要應にはフランス のでは、現フランス のでは、現フランス のでは、現フランス のでは、アランス のでは、アランス のでは、アランス

外間ブリアン氏、フランス参謀本一大が留すフェブ

さ齲向から否定した

事態リ

急迫

國内の

不安募る。

白領系軍

將軍語る

【北亚特置十二日盤】山東省濟南

の荒唐無稽だ 東京十二日愛電通 明大願動。 一日夕敷、鑑賞部總務部及び實 を製の意態度硬化と途に全朝十一 行委員の態度硬化と途に全朝十一 行委員の態度硬化と途に全朝十一 で委員を光誠に一千餘名の要生が を飲かる高唱しながら大響して押と での要生が

学校内に於て示成巡動をない をクラスを縛合すべく更に

学校内に原て示成巡動をなる歌福 をクラスを縛合すべく夏に十一時 をクラスを縛合すべく夏に十一時

世界的米選手を 日本に 明年五月に擧行する

奉取特產上場

結局實現か

部

記視を許さぬ

長官歸任後決定せん

支那炭進出

但し需要は局部的か

世界版本である。

野シムアソン、アルウインケル、 大協会は明年五月の関東陸上競技 と 東京十二日登電通 関東陸上競技 と 日本競技職器に來年秋フインラン ル程度の記録を持つてゐるせらめるこさを決したが、更に全 ロザート選手は砲丸投十六 ート三氏を模型して髪加出場 - ムブソン、プルウインケル・ 十五杯五、アルウインケル選手は シムブソン選手は二百メートルニ ド選手を搭係して國際競技會な開 頭を以て上場方の映情があってる 総て同販引幣局を初め同地酸工會 総て同販引幣局を初め同地酸工會

日曜太

金々墓りクーデーターは経々増 にかの國が對臨開戦せば我々は で大萬の精鋭な軍隊を以てゐる で大萬の精鋭な軍隊を以てゐる でや勢農國內一般人民の不滿は でや等農國內一般人民の不滿は で、の報は全く作り話だが我々、 で、の。

百八

殿を以て上場方の吹慄があつてみたので、関東殿でも難に日下飛ぎ に出向の上詳細智等 に出向の上詳細智等 が大概に於ては上場實現の意向を一、然底と関東なる態度を採ってゐる。就いてはこれに押ふ稿との影響を就ってゐる 内務局長、日下確産課長を會目を存奪信其務関東際に出願、二 聞さしては尚布上場質があった。 郷取よりは十

親流に中既産る

横銀 淌锡広西

供識の終斗さして知られてゐる長 の言目間にわたり滿日第二籌堂に 大連の俳友及び地柳家が登地 で同畵館の作品展覧會か十四日か ち三日間にわたり滿日第二籌堂に

打ち續

不景氣不

海上警備演習のため

東京府下の小學校教員百名に

大砲、機關銃の實砲射撃を行る

本学家が見た出動さて洋島、横鹿島 の流習もなす者、因に脚連は十六のため十三日午前入時より同署所 みで、大破、機関統等の実破射数水上数においては寒上壁側の影響 ほか十名だが、今暖が減めての転

震風吹き座師鬼は沈婆し乗組員は一次の大きないち今朝にかけ二十メートルの 函館地方烈風

高山地方積雪

のため第二、第三時殿場のため第二、第三時殿場を の収容能力は十萬軸で現 のあさいふ、この新吟第

前四時頃から初撃や見せ機能三、

青森にも降雪

焼用に用ゆるよりほかその使途は はればポイラーの設備も懸ませ の強出炭は強く機関車、神場そのの強出炭は多く機関車、神場その

多月賦提供

電話改番お知らせ

大

山溫一水記洋行

界各國

酒類

食料品

大連大山通

第五回購買會

ほんさにおいしい

幣頭金州澤庵賣出

海

気は、河上のの事

-一月十二日 - 一月十二日

九三四十八 番番番

濕濟鈴木吳服店

に、「大型子」というという。

ブル 香港を出發

関東軍憲丘隊本部の全議分隊長會 部にて際會されたが、午前中は二 である。 憲兵隊長會議

勉

强

0)

Ţ

其他各種服裝調製

即東京婦人美髪美容學校本郷御茶水東竹美経期卒規則呈かみの洋髪短期卒規則呈

E

コ連ジズ現 ー ヤ ル動ンボ場 天 パ 服服 I ン服

元氣洋行

天津の日支

會席の種別

左大臣

少納言と種別

△仁王山門潜る正面本堂

では、 では、 な校長選田編松氏母堂フデチ刀自 はかれてより病氣のさころ郷里山 はかれてより病氣のさころ郷里山 でいれてより病気のさころ郷里山 でいれてより病気のさころ郷里山

長谷川竹友畵伯の 川柳俳句畵展

より三日間涌日講堂で

ける遼海丸出動

甘井子埠頭に新設 來月上旬迄には完成 大貯炭場

が、さられるこさがあったので今度感光を自搬び上げる際土も同時に搬ひり、であるためトランスボーターに 凍結炭積卸作業緩和され 状態で

ある、然し

商

岡

水各

物

り雀

日露特製かに

電話七二〇〇番

小なす辛子漬 中 肉 ミ ソ 漬

ルの攝政カップを手にせる山岸、志村、シングル體に何等の波瀾もなく山岸、志村組優勝した『窓て早大の佐藤君優勝し、ダブルは山岸、志村劉布シングルより始められた、シングル決勝には兩佐庭球選手權決勝戦は戦報の如く十日午前十時より庭球選手權決勝戦は戦報の如く十日午前十時より **会日本庭球選手權大會優勝者** 行

畑政力

総中廣島に飛行するさ 一般中廣島に飛行するさ 天候回復を待つてゐた諸日飛行の『香港十二日發電通』書地に際在 大連音樂學校
・大連音樂學校
・大連音樂學校
・大連楽命舎

部にて際會されたが、午前中は二 生態分離機能の整理あり、午後は 指示事項及び一般事務の打合せた なも同四時開會とた、節會議後は なも同四時開會とた、節會議後は なも同四時開會とた、節會議後は なも同四時開會とた、節會議後は なも同四時開會とた、節會議後は なも同四時開會とた、節會議後は

7 せ鍋、すき すが洋料理 浪 五 速

道道省

山陽水デ

自米御買入の節は 白米問屋

食事

御

△普茶鍋 地下空電

仁王鍋 大臣鍋 が重なる名物 其他種々 △小坊主の薄茶は本山の例

御宴會場 無雲水 佐渡町一八西廣場幼稚園横入 話 1111三四五 五一四九



英國製 鹽

品 高級 羽根 蒲園 神夏 ラクダ毛布 御申込十二月十日限 大連市浪速町 順格で提供申上げるこさ、なりました。………… 来曾有の原料安、原毛安に加ふるに大量生産による 甲種 金六圓半 乙種 金三 圓半 先づ規約書な御請求下さい。生産費の低減等今回は特に **丙種 金三** 八ケ月拂込= 最良の品を平康の

農學官は直に同地方に出張して事 作曲ゆく桑畑や陸橋が記で、今 職、兒童教育に

てるる郷は豊稲の鑑み

に大物戦をうけ

3

충

0

浪 速 町 τ

を

りあに店業名著國全

が……第一、君、あの女を語へがが……第一、君、あの女を語へが 來るのを感じた。 下に置くさ、称雑は、そつさそのが、かう云ひ合つて、俯瞰は短をが、かう云ひ合つて、俯瞰は短を

日 大人の極機師ではなかつた。

一 大人の極機師ではなかつた。

一 大人の極機師ではなかつた。

一 大人の極機師ではなかった。

この既を芸年追ばれるやうにとて、
この既を芸年追ばれるやうにとて、
この既を芸年追ばれるやうにとて、
この既を芸年追ばれるやうにとて、
この既を芸年追ばれるやうにとて、
かったことが、腰の隅の形で仰分から、
という思ふと、急に耳の根まで熱。

本語に、音の根本で熱。

「 このないけてゐるのに重付いた。
ない。
「 このないけてゐるのに重付いた。
」 「 このないけてゐるのに重付いた。
」 「 このないけてゐるのに重付いた。
」 「 このないけてゐるのに重付いた。 「お酒は飲めないのかれ?君は…まり口に持つていった。 滿日 漸く明る味を持つた類 秋の実道湖畔から、愛なさいます。おは、大きにかいが、「主婦之友」十一日 就論「に数表させていたが、まさんの湖が、「大きべんが、私さ同じ静病の苦慢から一日も早く逃れて下さいます。「主婦之友」十一日 就論「に数表させていたが、まさん。」のる皆様のなほ私の、快いたしましたが難ば、帰岡縣、宰府町永・國次郎様の秘では私の、快いたしましたが難ば、帰岡縣、宰府町永・國次郎様の秘では私の、快いたしましたが難ば、帰岡縣、宰府町永・國次郎様の秘では、から皆様の、「主婦之友」十一日 就語に数表させていたが、まさた。」のる皆様のなほ私の神音をいたがけること、存じます。

一種一般のではおります。 一般のではいか。 一般のではいかが終一一個のではいかが終一一個のではいかが終一一一個のではいかが終一一一個のではいかが終一一個のではいかが終った。

日本一

り又母たらむとされる幸福であり。 のでありま

年五

藝者にして了つたのださ思ってる

和昭

月產三十萬個

なるのを聞えた

貴方はおおれになり お酒は出上が

草上には、紅い色や青い命の耐

(部に倒注意) 於院完全錠前付 山間僻地隈なく照らす 開

等婦人病一切

絶對責任藥 (に受藥引替に全部返金で)無効返金部添付せり 松下電器製作所

は にカタデキタ病 野菓子宮 心の病気で苦し人で居る方とではらにカタマリデキタ

领受牌资告给管博各於

酒は伏見の高級銘酒

津辻利ビル内

電話匹比

要目

一付 鑄鐵管 鑄錦、鑄鐵並真鍮鰤物、酸素瓦斯一汽罐、汽機煙突、各種機械類 設計、製造、居

監大連機械製作所

電話二二〇三番

在めや愛 酒家

なる

強 随 問

.

蹈丸

李 結 東京 山田 寶 生 堂 山田 寶 生 堂

日一月一

クフフリ レラ レラボ

高の紙が並んでるて、 が添っても燃やすや

れてるた。抗解けた。

お茶時さい

3

話八五〇八番屋

スタ

•

ても差支ない調だらうこ

また、今の語の後をつ

ながら、洋油の一本を取

「君は、自分の高會さいふものた

和雄は黙つて、そつさ眼を上げ

展いて見たいさは思はないかれ」 「そりや、出來れば試ってみたい さ思ってまずけれざ……」 思はずかう云つて了つたが、ま

確奏

無代進星』アゲマス』際こて生効能のよる無める事をに正とき効能のよる無める事をによりましょのに大喜いなができました。 リウマチス 禁量は多なる 質全手リ海子連代無書明説表療し



かに選しながら、紅さ霧の深い色、エメラルドを延べて突かせたやう

やございませんの!あんな特徴に

桑養劑が……

ポリタミンです

手を借らず、服んで に調理せられてある直ぐ榮養分が吸收さ

蛋白質の完全消化體 アミノ酸製剤

貧血·疲勞·病中衰弱

大阪市東區道修町 姓 武田長兵衛商店發賣 一つの酬い

製品(鐵循鐵桁、

「大スマポマードを御使用になりますには指頭でかかっけて毛根に響り込み頭皮に適度の何にかかっけて毛根に響り込み頭皮に適度の何にかかった。

鐵骨家屋、豆油容器 缓爐類本 店 大連市沙河口臺山町鐵道線路附屬品及信號裝置 お無てつけいならへしャブラシを以って軽くを無てつけいないます際にカエーブをかけられ

不順うわり、近上、頭流、子宮病、血の道、白血、血、 つり、加勝級、寸白、と 冷え込みにて手足腰腹部 主治効能 票票
京
市
京
市
京
市
京
市
京
市
京
市
京
市
京
市
京
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
市
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー</p す。母に 三しけ、月鑑 立として ウエーブの線は髪容美の基本であります けれざも夫のであります けれざも夫のであります けれざも夫のであります がにお望れるを髪は御使用になるを製に自然の光澤と優美なるが線とを與へます 故にお望るの髪容美は唯本品の連用になる 樽は吉野の甲付樽よ あるのです 一自然の光澤と……

ナショナルアイロンナショナルラナルランス 松下工場製 発賣元 大連市 林式會社 進和商 電話八二九番

度 定 一四百五百十十八八 五三十十 五三十十 国国政会 主イ御覧発納を防の主覧。 社人の関性闘力まして常用して居り である数性敷さして常用して居り 到る所の薬店にあり 家の守護薬

精力の衰退・腺病質の小兒 肺結核・神經衰弱・病後に 三百六十餘醫學博士の推獎する % 二 液狀(草)ポリタミン 250瓦 (2圓50錢) 500瓦 (4圓5(錢)

30-966 (O)

百萬二千圓にしてご豫算閣蔵。て決定 一、四四八、〇〇二 一、四四八、〇〇二 一、二人一、一〇〇二 二六六、八九九 二六六、八九九 00

新規事項 上藏相

源外拓航事業指導實 產業試驗、移住 查費 產業試驗、移住 查費 合 計 二二十 東京十二日發電通 東京中医院 (東京十二日 教電通) 東京十二日 教電通 | 東京十二日 教電通 | 東京十二日 教電 (東京十二日 教電 (東京十二日 教電 (東京) 東京 (

ゼる各省豫算

は約六千七百萬個は約六千七百萬個計約一億三百萬個間割のためこれで、一切應することは、一切應することは、一切應することは、一切應することは、一切應することは、一切應するとは、一切應するとは、一切應するとは、 三十萬四千五百四圓計一億二千 七百二十七萬三千二百二十五圓 一である、從來、約繰延を行った。 事例に微して節減額、繰延額された。 事例に微して節減額、繰延額された。 事例に微して節減額、繰延額された。 者結果で深く感謝するものである。 、海軍補充計畫については昭和、次軍軍補充計畫については昭和、本年度像繁編成の原五億八百萬 和一、海軍補充計畫については昭和 大平四百萬圓の補充計畫については昭和 大平四百萬圓の補充計畫を立て。 北下四百萬圓の補充計畫を立て。 北下四百萬圓の補充計畫を立て。 北下四百萬圓の補充計畫を立て。 北下四百萬圓の補充計畫を立て。 北下四百萬圓の補充計畫を立て。 、海軍補充計畫を立て。 、海軍補充計畫を立て。 、海軍補充計畫を立て。 、海軍補充計畫を立て。 、海軍補充計畫を立て。 、海軍補一直、 、市場、 、市場

組織の 整理が の急務

(日曜木)

無常部 一五、一十五、五六五 (本) 一五、一十五、五六五、五六五 (本) 一一九、二八三、九十四 (本) 一一九、二八三、九十四 (本) 一つ五、六四九 (本) 一つ五、六四九 (本) 一つ五、六四九 (本) 一つ五、六四九 (本) 一つ五、六四九

五六四、四五八、八一九

国、其の他四萬七千七百十八國、 関、移民保護獎勵費三十八萬八千 関、移民保護獎勵費三十八萬八千 原、移民保護獎勵費三十八萬八千 原本館新設費六萬七千九百七十四 原本館新設費六萬七千九百七十四

一二、四五五

一、〇六七、一二九

陸

軍

省

幸校

拓務省

日までの五年度 いまさになった、 にはつた、 にはできる。 は他では ができる。 は他では は他では できる。 は他では できる。 は他では できる。 は他では できる。 は他では できる。 は他では できる。 は他でも は他でも はいても にいても 時代より炭の部、販 よつて大概の目安もつ

地賣炭にも長輪近に管

南行貨物激減

囘復の曙光

激減は南行貨物のみでない

十二日は百九車餘

れば部線は長距離の 革命記念祭により休業した関係 関係 から谷中間難に係風

異等に因り緊急施設を要な低支出の財産情無なため は公債又は借金に依りて

世代 は 1 日 は

見 ざる

曾了

號一千百八

國民負擔の公平

口首相聲明書發表

行政の

合理化

2

取れた単では53×のである。 「現れ五年度級人の概範はこれた に和税その他の総常教人に於て でき前年度級験会は常無及管存成。 でき前年度級験会は常無なる。 でき前年度級験会は常無なる。 でき前年度級験会は常無なる。 でき前年度級験会は常無なる。 できが、できずを表し、である。

に國民の貢機を設立してあった、 を対し、 をがし、 をが、 をがし、 を

東京十二日景電通 明年度建築 東京十二日景電通 明年度建築 の苦心は続せられる、元本郷郷 の苦心は続せられる、元本郷郷 の苦心は続せられる、元本郷郷

昭和五年度の機人は著るの際明書を養したの際明書を養したの際明書を養したの際明書を養した。

基礎薄弱な豫算 て三土忠造氏談 明したこめ一層鉱成盤に殴った際に財産の放果を吹嘘せんため保留。体料の放果を吹嘘せんため保留。

而から最 単一交も財産の餘 になるであらう になるであらう

手控へさなったこさもその一つさ でもては海蜒の競技運動を下説の さしては海蜒の競技運動を下説の では海蜒の競技運動を下説の 手配 ななすさころがあつ

た響でこれは更に一部織の原政を整有振興等は一層機がされる中に関するべきは飛ぎなりを表

は百九車線の種替輸送の が十一日から幾らか回復の職光 が見せ同日は四十四車輸送十二日 に百九車線の種替輸送の通りであ 一日

三十年記念式

十一日はイタリー皇帝陛下の御飯として出年よりレセップションを鑑して出年よりレセップションを鑑し

た【奉天電話】

閻氏代表引揚

電通社の創立

宴に臨んだ【奉天電話】

伊國々慶祝賀

皇帝陸下の御籃

0

能呼せらむる事は刻下の急務である で現代種様に要は、国民争権の質 で現代種様に要は、国民争権の質 では、政財政権に整理につき権重に は、国民争権の質

することを単にを立てあるとである。 に行政の合理化を膨ると共に関 氏の貨艦を公正ならしめ且つ粉 素の既対の基礎を輩固ならしめ

丁四億四千八百萬一 い内譯左の如しれたる明年度一 豫算額 経常部 一七二二七五、四九〇 経常部 一八八、四〇二、七二五 計 一八八、四〇二、七二五 計 一八八、四〇二、七二五 新線延、 経常部 二七、二二三四三 経常部 二七、二二三八〇六 復活承認額 六二八二、五七七 經常部 六二八二、五七七 經常部 六二八二、五七七 を規書項承認額 探 *** 新 一月、勝さ郷さは手なとりて総 一月、勝さ郷さは手なとりて総 大は北平に會した。今や郷さ間 地代して中正、変順、南京に會 地代して中正、変順、南京に會 地人さす。支那の時局は、窓に 走馬燈以上に動く。今後、この 走馬燈以上に動く。今後、この 勝すべからざるものありさい SE STORY 二足

在郷軍人會國庫補助で、一、一五〇、〇〇〇一で網軍人會國庫補助 依ろものだから純新規要求機 は三百五十一萬餘圓(新規要求機 は三百五十一萬餘圓(新規要求機 海軍 省

航空隊十二隊設備 九〇、〇〇〇

であるから己むを得め次 の上遺憾であるが非常時 の上遺憾であるが非常時 の上遺憾であるが非常時

右に続いて慰田議長は納る おに続いて慰田議長は納る に対ける魔知護兵の失 ご言問題などな人が取り消すさ云のたら何も高塚、岡野阿議員における魔知護兵の失 であるがない、本人が取り消すさ云のたらず取り消しさへすれば問題 はりかなり消しさへすれば問題 はりかなり によい なり消しさ へずれば問題 はりかなり

なほ軍事の際、財政問題は短い間、中央、東北の地震問題では歳と得られわさころからして執監官師、直後たぐちの執監官師を両北軍問題、中央、東北の地震問題などを踏し、

なつてゐる

いはゆる編造「議を開催すること

考へてゐない

凡 田議 長談

恩田市會議長

解職決行か

農事協會總會

二於

17

なき成績

競長で低がれる ではも はまされる本市 に選出大連市大連市が連れた。

参事會員辭職を機に

・なるべく更に財政 職を同時に 、なるべく更に財政 職を同時に 、なること、なり南京政府統一の三大 のこと、なり南京政府統一の三大 のこと、なり南京政府統一の三大 營口開港 七十年記念

十三日英人職技能で「慰日」開港 七十周年記念説の書を大々師に撃 でするこの事である、程は往時英 機験を事が太洁古領後英支間の天 機験に基き同港は始めて通徳、重 場流さして開放さるとに至り次で しては東洋進出上記念すべき港で 支那侧大反對

滿鐵營業豫算會議

一二日から本會議

瀉千里に終了か

歴史嫉恐権なる國軽嫉悪者である 悪は鷲日開港ごそ八國にこりては 悪が右計畫に對し支那郷の意 線延額を飛ご同額の節約を賦行 な高くする。 を高くする。 かく決定。 十四億回臺の六年度職算案でも

とには大反響である立際へられて さの理由で同地官民警警く前記機 際は懲日職をる國縣協職者である 腰上的恐痛なる國縣協職者である

水井外務次官

張作相氏計問

大觀小觀

生きた群が宿さ撮っせればならな、一般での窓にはつれるころを観る路、南京にゅつれるころを観る なかつたであらう 連のよい張は、さんく拍子で

日二十月一十

0

形の上において。

は一にいった。

走

本で黄河以北を戦め得た

何さも出すべき言葉を知られる たのである。さんし

ればなられる

すべきかも知れれる。最

中に對し、潘子で梨の張

濃手で繋の張

たのである。さん~描子に都内に出兵までして危い橋を渡つにかけて保慰安民ごころか、関 にかけて保障安民ごころか、開いはゆる舊派の姑、小姑、兄目 はれる

も昨今は相談に殲跡繋行を敢て天下を二分して一を保ち、しか

南京

して、われらは二人の質質如何 のか。その蹈者は揮々離が書き のか。その蹈者は揮々離が書き であるか。そは兎も魚こ

意の經順に存在するものなるこ さか高れてはならわが。

らず、特に留心を要するこ知ららず、特に留心を要するこ知ら

であるさのこと。今度の南京 気であるさのこと。今度の南京 気であるさのこと。今度の南京 であるさのこと。今度の南京 であるさのこと。今度の南京

第四次全體會議 けふ開會式

珍味中心 北京監理

の五割安

更に軍事財政兩會議 東北軍縣的城尾大佐は襲撃敗氏ので天津に赴いたが、張氏の後を追ふて天津に赴いたが、張氏の後を追ふて天津にり南京に直行するさ が 日本師に研究し、立て顧さればな ちの時機が継来したのではあるま ★武田南陽氏(南洲報記・) 同上社任した。
十二日へ港天蘭丸にて帰連十二日へ港天蘭丸にて帰連十二日へ港天蘭丸にて帰連 ばいかる丸 十三日人港 のほいかる丸 十三日人港 老祭するを要する 政府が大調査會を聴露せんにするの意、恐らくは其邊に存するに 第6であらればなられ。 未曾有の基礎環境な験算家ださい
政友會の三土氏は憲法養布以來 ★大仲齊之助氏へ前大連三越支店長)今回東京本店に榮軻、十二長の一大仲齊之助氏へ前大連三越支店 大棒板 又 東京市田本権国本町鉄田逸元三郎商店 東京市田本権国本町鉄田逸元三郎商店 東京市田本権国本町鉄田逸元三郎商店 東京市田本権国本町鉄田逸元三郎商店 東京市田本権国本町鉄田逸元三郎商店 「きもの話」が母子 乳見から かぜ、ねつ薬 コドモの ★施技、其他ねつ一切 長 ◇ 高貴新業を既任す ・ 電しも副作用なく ◇ 小兒に服ませ易し 七才迄の 金一四八十 何 二十级 二十個

\$6

急

当

雪

けふ市中所見

北藤太二タ油田に送られる事さな北藤太二タ油田に送られる事さな、「特大氏の職るさころによる。

満温

佐藤輝が窓に膨重つきて小蔵子器 製を吹き支那、満洲を腰にかけた 製を吹き支那、満洲を腰にかけた 女は木籍

放浪もた響い本年七 だる稱して同家に厄介を裁の姪でも那混人加藤萬 奇質に現金四十回、ダイ

日入港のはるびん鬼にて市日入港のはるびん鬼にて市

伊達順之助に 罰金千圓言渡し 殺人被告事件控訴公判

犬養政友會總裁の姪ご大法螺 大連に舞ひ戻り御用 に女泥棒

晝夜

式京東

桐簞笥製造販

賣

し、十一日無然と來連して市内大 で、十一日無然と來連して市内大 で、十一日無然と來連して市内大 に起き旅館に軽て居るうちに男の 間を急に郷州方配に行くからこれ で失職するさ体の男に他家より で生職するさ体の男に他家より

大連連鎖商店街常盤町

ヒグチスタヂオ

ハンドバック 織さなし夫婦然さして北平見物になる大阪酸人池局果を終ちにし 自了三即建筑市建大 **店商内井工** 即仲口河沙 店女

安を自由にせんこする風潮のなぎ 助下げてゐるここでもあり、殊に 日 助下げてゐるここでもあり、殊に 日

同様して不起訴の虚分に出でたも

つたった一日繁地水上署に手配があった

とならしいさあつて取押を放散を出したが大連が直

拐 店員 職職縣單

撮影

此の機を逸せず

今すぐ御申込み下さい

賣行殺的

店 福田

が大学主風呂崎 発力、単機所手足の痛む餌方標 は健康室子をするのなる人 大連市美濃町二五電六大人人 大連市美濃町二五電六大人人

タイハン改め

の犠牲を

はらつて御要求に添ふ事に致しました

同地の松島衛州生旅館に林アキラ

院 醫 江庄場馬

八七五八話電·話播盤常連大

改名記念媛房界の大改革

場馬ルトクド

て悠々で同日夜行にて天津に赴き 機の大洋螺の地で変人な煙に登い で変人な煙に登い 多謀部 に動めてぬる夫

片海博士述 說明書海呈

粉門大連美濃岬四五 前件所大連美濃岬四五 并 行 改 再 乃 洋 行 改

大震大 でして御頭りら致其他大会の都合にて御頭ボ 仔、犬 郷 ボ 仔、犬 郷 ボ 仔、犬

産

ラカルシ のために

禮 用御履物は 内 物

婚 铁 町

大連第二中學

犯人就縛

人について、所轄沙河口製で批人 について、所轄沙河口製で批人 について、所轄沙河口製で批人

御

妓樓下遊與中

意して置ける解送電話をかけた湿。 に選ぶ大連支店観機能製留字で、 が選ぶ大連支店観機能製留字で、 が選手料理店五十號の情夫のもる に登録返頭中を逮捕し目下観電販 に登録返頭中を逮捕し目下観電販

速 主 1 目

電話五七一七番 店

片瀬陽學博士雅獎

善せしむる等、諸多の好果を擧ぐ母乳を豐富ならしめ、且乳質を改姓産婦を保護し、胎兒の發育を助け

店商助卯田和阿修道版大元賣發

ソット學生の身に浸む不景氣風 各學校調

奉中の

辭退で

天丸入港

愈よ從業員が

またり

遅る

演藝館を經營

年末に際して平田氏の同情

今十二日から更生

新に鞍中を推薦

ゴタついた全國中等學

時他に選ぶ天連入港が全一日選れ十二日早期、港線定であった大汽車概念又復館の風を受けやむなく | 世代後又復館の風を受けやむなく | 一腰背島に遊踊りして十二日歌めて出帆する事となったので大連入

ラ式戰の滿洲豫選

頭の牛が冬季勢館者の食糧さして

物らす儀か六頭の死亡をみたのだったので永い時日を費したにだったので永い時日を費したに関の牛を送つたが 海頭る平穏

满

沙州

幸校

(日曜木)

鐵柔道軍

一行二十名ける着連

勇一三郎聖亨

蒙古牛の

が輸送

れたしさ

決定の對大連道場戦組合せ

シノへ同地に繋古牛が進出するもなに外の一髪も無事郷養の窓であれて大成功を収めた

の送還さ那人が一束になってやって出人港の長成鬼で札幌者より 送還され來る **黝品行商犯** 八名、滿洲の奥地に

地水上製ではそれんと脱縮地に飛りではそれんとのであるが、は水上製ではそれんと脱毛を持ちれば、は水上製ではそれんと脱毛を持ちます。 財務課長

指物一切修缮之致之文

柳霞卷

七谷

大連市警城平八(日海館前)

三六五六番(ミロイロ) ア記洋行電ニニ五三番電話と番お知らせ

■東京島川驛前 牧外東北京 東京島川屋前 牧外東北京 東京島川屋前 牧労・金に時間 であるに時間

榮

養

0

真正

神仙松松

(裁明書送早)

滿鮮一手配給元

佐食

(松の翠)

一 本 洋 行 木 洋 行

で.

んそく治療

常松尾魚り

電話九四七八番

政器財務課長歴井厚ニー **依願冤本官** 政署財務縣長藤井唐三氏の受職を取て勇退を解へられてゐな大連民

好成績を收む

日和松川東州の一隻によって約三千一蒙古年のサガレン戦出――芸月四 五千圓女給は 遂に不起訴

り満覧の際は道場入口を継げるさ と概禁般所持者のみに許されて居 と概禁般所持者のみに許されて居

ムは無順に勝ち、率

女の立場に同情? チップ劇漸く大團圓

戦能にまみれてゐるのに驚き散米 大人の張某が訪れるさ宅内が一蔵 大人の張某が訪れるさ宅内が一蔵 が大人の張某が訪れるさ宅内が一蔵

金午前十時から側生高女A野神明高女A ▲午後二時から側生高女 明高女ら八十一時から側生高女 野神明高女A ▲午後二時から

姦夫、

姦婦が E

町高等変學校々区にて懸行される
曹は十六日午前十時より市内彌生

添ひたさに

全滿籃珠戰

メバリ

古田洋行

IJ

市 條他つきで ごろが松子はカ 度も 彼好の難いもの 袖を振つたも

事教長の中から奏任徐遇を出すし現に校長の職にあるもので本郷の州事校職製会中一部成正されて一斉榕清は十五年以上小學校に勤務

既報の通りだ

は 画東殿で 一般 では して 在殿 年歌 な に 回東殿で 一般 で して 在殿 年歌 な

小學校長銓衡

近く滿鐵學務課で開始

p ラ

、最近花崗兄弟の死骸養見等當社都人の暴納事件によってわが が討伐軍に投じた

職でも益々進成し事他院は多大の犠牲者を出り

8

洒

金州新澤庵賣出。 岩

震商 六四八章



空行かば」公州

口活 特選映書週間

品 千本を 金金金 組ご 1 0 景品 柳間出 見

誠鶴一升入瓶詰一本御以上の 御方に上等タオル一筋ど 至昭和五年十一月末日)

釀 造

軍 手



染代黑紋附

にて提供、多のお古 白紋金波縮緬反 多のお支度は何卒が 十 六 圈

飽まで品質吟味の上

破格の廉 京

四五六七八九十 滿日勝繼 二古 主 夫 志 大 九 **滋田** 俊介氏 十日より 文の 花岡瀬子、毛利郷夫 花岡瀬子、毛利郷夫 花岡瀬子、毛利郷夫

(112)

藤間宗六・魔 歌子 志賀塘郎・中村吉公 志賀塘郎・中村吉公

屋小妻で池田屋新兵衛の戀物語智根崎の廊にまだ染み切らぬ柳

第はれた居頭悲喜劇 而 國 館

田たのでごさんすかえ?」

脚の夜に、どのやうにしてあるで、いさしんで居りましてあるで、どのやうにしてゐるで

をつまらせて云った。

鼻笠さ

江戸の華色

| 田八左衛門さやら云ふ停か、腰の | でお前まんも知つてゐなさる同じ

た。少し変を見せなければ、個かたのではない事をしてお官のお手

來ればお金の無心より外に用のな

でこさんす。 世間標へ影響をかけてこさん ないません。 本然に辛いこさへようしません。 本然に辛いこさへようしません。 本然に辛いこさへようしません。 本然に辛いこさへようしません。 本然に辛いこさへようしません。 本然に辛いこさへようしません。 本然に辛いこさへようしません。 本然に辛いこさへようしません。 本然に辛いこさん

十一日封川 特別映画で記されて現代超特作・東記されて現代超特作・関門 特別映画化

竹

さんは人一能の繋題ひ。夫さ知つまた。 は一人ではござんしたが、お千賀 からうにあの御勅弥な佐田さまた は 一人ではござんしたが、お千賀 かる

く云ふものゝ、胸の裡は道式の身っしてぬますやら……」口では輕

製じ、悲しか

がしみが一杯で、さもす

けたたましく大が

まて、何さいふ情ないここをし

お削さんのやうな娘が出来たのが

前、お父さんの在所は知られえん

た。酷え続しだかしたやつ

あのお千賀さんのお父さ

ここれか。あの敏歌非道の道式にてある。お前が歌きは、世間でよく知つてゐるよ。歌が歌を生んだとなってゐるよ。歌が歌を生んだといってゐるよ。歌が歌を生んだといっている。

す

浪速館

三二一等等等 貳五拾

九六九四貳 二〇 筋本本本本

抽籤券を差上げます

證 におり

391

和

大豆丁業研究會母事

中西瀧二郎

昭和三年に あった。そ

れが僅か十

内

地株爆發し

諸株共新高值

市場電報件三田

四三二一十十限 三二一十十 月月月月月月月 横 二一月月月月月

至天天八百百年

和毛毛を表示の それである。 おおおおおきの

型 五九八八兩五九八八兩九 五九八八兩九 五九八八兩九

戸豆

大 三 引

医院連輪・接ば大連支店 大工ムする近で電話四人の二番 ・大工ムする近で電話四人の二番 ・大型の店所にて荷物製送引受 ・地各港行連絡引換證養行致ます ・地各港行連絡引換證養行致ます ・本工人主義・義績、関原

花

一ケ年毎の増加のステツ上の増加でありまでが無いたけ数を現て記せばれて記せばれていまりまでがいませばいませばいませばいませばいませばいませばいませばいませんが、個か十六ケ年後の

増か十六ケ年間に三倍 が十六ケ年間に三倍

不同

常市諸株 る 品騰

新東大新即時計算

内地高に伴ひ

の決定等に好感して諸株共馬騰で地様式市場は貿易の好化、豫算

日本炭驅逐を 南京政府に懇請

吉林官帖の悩み 歴史―發行品―暴落の原因

はである(ついく) を表示に野する是私助理 を表示に野する是私助理 を表して一股液

は安見越して高なー 地安見越して高な人れと協協

過去現在及將來

は過去に 非なが出るの 輸出元の もアメリカもある。見に 八割 至八割五分をエキへ間が食べ、家畜の飼料 おふさ のるか、又そ 丈けの

及び機に脱て非常に彩しく感どら 大大連に居りますものが、線年智 がの道程にあるのであります。 継 がの道程にあるのであります。 継 △ ◆ … 輸入組合職合

國産炭を奬勵せよ

地金智野を極力駅行するこの登成意味を有ら離と共に 変形を観光し野脆と共に 力會社銀行族酸し飛ぎ

▲大阪 物 本大阪 物 本大阪 物 本大阪 物 本大阪 物 本大阪 物 本大阪 物 林(强保合) 一二三六智比 一二三六智比 一二十二智比 元二智比 元二智比 元二智比 元二智比

金観に止まるから物施も極いに止まるから物施も極いに止まるから物施も極いないのでは、これがため消滅がて居り以上に要する細質は極いないがあり、

安取(先間 前場寄 式

大 阪 期 大 阪 期 米 前場寄 米 大戦和大連 連圖洋連 大川紙の 川間各紙 通紙種屋 **③** 〇明大小 五洋山間 0

して實現させたいものである。

◆定期前場(単位後)

滿

鐵

況年11日

産・

期は差される材料はない期は差される材料はない相対出来で中高級は質氣性がした。

粱暴落

麻袋變らず

米

婦人の病は婦人の手で

永井婦人醫院

世話三大大六番

綿糸奔騰

はなかく~至此のここであた採用するに容易な転らめい、権民地は割合に新らしい、権民地は割合に新らしい

専門今井醫 五

相場

大陸市三河町

6個科醫院

全 島谷汽船漸出机

取 报店 九 二專酬客價 九 二 大連市山縣道地話(三七三九番大連市山縣道地話) 商商

二一一一〇〇仙仙仙仙仙〇元七五三五八

|| 日清汽船献出机

回朝鲜细船鼓山帆

ツーリスト・ゴェーリーリスト・ゴェーリーリスト・ゴェーリーリスト・ゴェーリー 大山通道 3 次 所の記点エリー大山通道 3 次 所の記点エリー 大山通道 3 次 内 所(電三五七八二十分 案 内 所(電三五七八二十分 案 内 所(電三九一四) 春 案 内 所(電三九一四) 春 案 内 所(電三九一四) 春 家 内 所(電三七八八) 春 家 内 所(電三七八八) 春 家 内 所(電三七八八) 春 家 内 所(電三七八八) 春 家 内 所(電三七八八)

大阪

糸

金鹿兄島、武徳、名古屋行 明 石 東 十一月 日 大神加と同三 5 七甲店 松、田町 1 日 日

| 突御事り | 大名で | 大

國債相場の前途で

上三千萬圓

六萬坪の大貯炭場

1 機関を離止し焼突機の中央製機を を動き吹名して一時電際上突然響を を動き吹名して一時電際上突然響を を動き吹名して一時電際上突然響を を動き吹名して一時電際上突然響を を動き吹名して一時電際上突然響を が東北電腦部は極めて参縁さる間 が東北電腦部は極めて参縁なる間 でもる部はに後めて参縁を でして全日に至った が東北電腦部は極めて参縁なる間 であるが、東北突通委員會では との東北突然響となどで、 でに之を覧頭せしむ可く破窓 で、大き等電十一り鍵)南泉政府は であるさ際へられてゐる『奉天 は概常の曲形を見てるであらう

甘井子埠頭に新設

來月上旬迄には完成

凍結炭積卸作業緩和されん

ーターさして全席の撮影した であつたが反スターリン派の

不年度減債基金激

年度襲撃に続ては刺除金が崇無でき襲撃に続ては刺除金が崇無で

本年度 六、八三〇 合計本年度 九〇、五〇〇 陽東第三本年度 六、七〇〇 十六萬一千圓の灑滅を示してゐる 所にて即 大平年度 六、七〇〇 十六萬一千圓の灑滅を示してゐる 所にて即 大平年度 六、七〇〇 十六萬一千圓の灑滅を示してゐる 所にて即 大平年度 十〇、五〇〇 陽東第三本年度 十〇、五〇〇 陽東第三本年度 十〇、五〇〇 陽東第三本年度 十〇、五〇〇 日本年度 十〇、五〇〇 日本年度 十〇〇〇 日本年度 十〇〇〇 日本年度 十〇〇〇 日本年度 十〇〇〇〇 日本年度 十〇〇〇 日本年度 十〇〇〇〇 日本年度 十〇〇〇 日本年度 1000円 1000円

所にて関東殿共他の関係者で食食が、食師後は粉校集會の窓であるが、食師後は粉校集會

意兵分隊長會議

書順を収容し得るから世末子準職 の際によりないよ、この新設集 というであるさいよ、この新設集 というであるさいよ、この新設集 というであるさいよ、この新設集 というであるさいよ、この新設集 というであるさいよ、この新設集 というであるだめトランスボーターに 提出であるためトランスボーターに をいうの第二、第三階院場を というのであるさいよ、この新設集 というのであるが四郎のコンとす をいるの第二、第三階院場が二十五 であるためトランスボーターに 接出 をいるこさがあったので今度底 といるこさがあったので今度底 といるこさがあったので今度底 といるこさがあったので今度底 をいるこさがあったので今度底 をいるこさがあったので今度底 をいるこさがあったので今度底 をいることがあったので今度底 をいることがあったので今度底 をいることがあったので今度底 をいることがあったので今度底 をいることがあったので今度底 をいることがあったので今度底 をいることがあったので今度底 をいることがあったので今度底 をいることがあったので今度底 をいることがあったので今度底

ない 極端こ見られてゐる

「監戒」に用ゆるよりにかその使途は

「監戒」に用ゆるよりにかその使途は

「監戒」に用ゆるよりにかその使途は

「監戒」に用めるので、「ない」に

「ない」に対しては、一つでで、「ない」に

「ない」に対しては、一つででで、「ない」に

「ない」に対しては、一つでで、「ない」に

「ない」に対しては、一つでで、「ない」に

「ない」に対しては、一つで、「ない」に

「ない」に対している。

「ない」に

北寧沿線在住

邦人を彈壓

支那側の監視嚴重

送炭制限協議

野で特産酸はこくもご美望の 酸は十五萬國か下るまいさいふ

六百三十萬圓を

黨籍離脫論議さる

兩勞農巨頭の

輕視を許さぬ

支那炭進出

標願院送院献陳問題については引きついき十一日午前滿鐵玩賞部長きついき十一日午前滿鐵玩賞部長で大艦の語が鑑すられたが融者互に大艦の語が鑑まるものさ様儼され、繆局滿鐵ごしては多少は送院

米需給狀況推定

豫想高ご殘存米か

ス氏の獨裁政治益々鞏固化すか

復雪で捗らぬ

石炭車の積卸し

大連、甘井子とも作業難で

但し需要は局部的

カシ

の獣魔に懸するものさ見られてゐ

さ鑑打つた水脈子が現はれた、こ

北支に活躍する 共產黨武裝團體 目下武器買收に奔走

した繋だとい其産繁難動の書籍が「の期氏であるが節載は目下接乗中中國節載が最近天津郵便局で押敷」みあつて不明、箢名に河北省任縣

ロシア革命記念と

さのピラが縦布された

あること、工場に避入して工人を を覧の指揮活動である。

お政さ

地位戦権を懸賞して兵の募集を

めて巧妙で兵士十人を翻読が出

に設け平波流線に活動することに

在滿邦人の 涙ぐま くなつてきた 活動をみて

來るだけ要望には添はう

離滿に際して永井次官語る 七日露岡革命記念日を催すが一

一般では二つの系統を有つてあるやうでは二つの系統を有つてあるやうでは二つの系統を有つてあるやうでは中國共産黨中央第 では、 1 大阪直着委員會の成立は駅年前で、 1 大阪直着委員會の成立は駅年前で、 1 大阪直着委員會の成立は駅年前で、 1 大阪直着委員會の成立は駅年前で、 1 大阪直着委員會の成立は駅年前で、 1 大阪直着 1 大阪

職して其管際方法さしては前記の 地き勢くの秘密郵書―擬水暗書を は定期で行の「北方紅飾」である は定期で行の「北方紅飾」である

養赴年の筈であるが、一部では王 執監全艦會議を外に今週中に南京 北平の私宅處分其の他の爲めさて 軽の難

継続氏就伝し王氏は腰湾蝦路

張氏の不在中

は三千八百五十回に修正の意見が出て同三時三十七分骸會した、因に現象事會戴笠原、金井、や島、に現象事會戴笠原、金井、や島、

◆現物後場(銀建)
一大型(銀光大八〇五八四〇大型(銀光十八八〇五八四〇 大豆續落 で保合関散であつたで保合関散であった。の低落を辿りり新も父仕手闢は低落を辿りり新も父仕手闢は低落を辿りり新も父仕手闢は低落を呈して明落氣配に推移せる折柄を 郵日東鐘鐘大大銘 ニニ〇六四四五後 阪 六二〇三八三四六九場 株

が高解を求めた。寫真は首相官邸支關に於ける濱口首相(向つて石)さ井上藏相(左上 東祖は十日午前濱上 東祖は十日午前濱上 東田 大日夜霞ケ陽海相官

一、六六〇、000

| ワから極東人民委員會に打電され | 十三年を迎へたソウエート十月|| 【ハルピン特電十二日整】モスク | て來た狀況によるさ 日首相を官邸に訪問も前日の折廊經過を報告してこれ補充計畫案も無事落着をみたがホットひさ安心した井邸において行はれた井上巖相、安保海相の會見によつ 五ケ年計畫の成功

さあり、この革命記念日はスター

計畫)の大成功を物語る一つのパー家屯、 リン氏のペヤチレートカ(五ケ年 陽へ、 第一、 吉長糖繁城子院及吉野線の奶店長糖繁城子院及吉野線の奶

空車の山元輸送に支障

さして昨年十二月末限り各番の交。 國民政府は冷外法権・政際の第一歩 舊制復活

土外交部長の

辭任傳はる

全體會議を外に南京發赴平

顧維釣氏か

年末迄に實現

本供 名 本供 名 本供 名 本供 名 東 一回 医 報 第二回 医 報 第二回 医 報 第二回 医 報 第二回 医 報 第一回 表 第一回 是 。 第一回 表 第一回 是 。 第一回 是 一驅逐艦歸還 五五十一、七五五七七〇〇二 七〇七七五〇〇二

第二遺外艦隊附属職逐艦が今度永

養新(青杏二人 大新(青雪元、新東(青100元人 大新(青雪元、新東(青10元人 大新(青雪元、新東(青10元人 大新(青雪元、新東(青10元人 大新(青雪元、新東(青10元人 大新(青雪元、新東(青10元人 大新(青雪元、新東(青10元人 大新(青杏二人

大阪定期後場寄は前場引に比べ大大阪定期後場寄は前場引に比べ大大阪定期後場寄は前場引に比べ大大阪定期後高、難新平一個四十銭高、東京短期に上げる。、維持工程の大阪に関係を表した。

本京株式短期 位值 九九七〇 九五〇 位值 九九七〇 六三五〇 位值 九九七〇 六三五〇 位值 九九七〇 六三五〇 位值 九九七〇 六二五〇 一页 数章 新

市参事會

當市强調

橪

尤

市

況全三世

退職金審議

市場電報金工品

麻袋 出來小申

大阪三品後場引は前場引に比喩ニーキリを報びたが當市は踏物さ大学が高市は踏物さ大学をありませんだ、麻液は風間をある。

綿糸彈む

麻袋變らず

差したる材料はないが當市場合 人無作用で安舎りの後高値七鵬士 姓を示し結局六個九十五銭さまる て十五銭高の異含な辿つた 鈔票强含

仕手關係で

豆 株 一七六五 一七六五 日來高 二萬二千枚 日來高 一千五百番 高 榮 田來不申

「福岡十一日餐電通」後帰陸軍中 大解院に入院加線中駅在城なく十 大解院に入院加線中駅在城なく十 大解院に入院加線中駅在城なく十 三原辰次中將逝去

動めなもつ蘇卓城への生活は丁

さでありませう。 割なもつものか、御諒解されるこ

一 東京本所區××町の館民館に整って取らます。 一 東京本所區××町の館民館に整って取らればならない取らあるが、現にするが、現にならない取らあるが、現にするでは多少ではないでは多少でではないでは多少でではないでは多少でではなってではまます。

ー切に使用が出來て便利な様では ませんが……又置べーチカは春城。

換へるこさが大事なのであります

は意かしたいる思います。 南高州 と大な料郷な戸、窓は内帯の温度 を放脱させるのみならで却で喧問 を放脱させるのみならで却で喧問 を放脱させるのみならで却で喧問 のしますから特に

世性たるべき若さな性のな 大なる彼紋を投するもので

一では、この問題はこ

布」 激ですよ。

卑議なし○僕も「妙

町廿一番地·靈山堂

設質元は東京勝布區

吹着の味びの第一矢が、 歌着の味びの第一矢が、 歌音の味びの第一矢が、 歌音の味びの第一矢が、 歌音の味びの第一矢が、 歌音の味びの第一矢が、 歌音の味びの第一矢が、 歌音の味びの第一矢が、 歌音の味びの第一矢が、 歌音の味びの第一矢が、 歌音の味びの第一矢が、 武本氏――さらでせらね。総言 田中氏――いや、そんなことは んてことは考べない方が本常でせ

をおりにして、他をおりな苦事を開めます。 をおりに便かで入る時、特に是便所は「別の無になって、他難争の無探で便が、となって、他をおって、他をおって、他をおって、他をおって、他をおった。 では、なって、他をきるな信が、は、これを開かるで、他をおって、他をおった。 でする。 です 0 大きりなやらせる様にもたいものであります。 で間十二時から夜期けまでに、く の馬車敷薬の連、は日中でなく、 の馬車敷薬の連、は日中でなく、 のよりなやらせる様にもたいものであります。

を設定することが出来ればどんなに住心前がよくなつて来るでせ う、 忌むべき網入もこれによつて を認さればしないでせうか。 なくさも経核病率は著るとく低下 原院は次の事項の解決にあります 原院は次の事項の解決にあります 原院は次の事項の解決にあります

一職能します

か、どうですか量中さん?

の方々は、さぞ破祭が基しいことがどういふ社意や處置をしていらがどういふ社意や處置をしていらればらればいると

そんなでもありませ

を散ずれば、翌日は元気回復 には、「妙布」を貼用して時間 ーの消耗によって生ずる彼分

して気力旺盛、精彩爽快とな

官は随か辛いだらうと思ふんです

ですがね、水泳の方の人は冬の緑

既はいつも考べるん

てお話し願ひます

喉の熊み等、すべてエネルギ

ッと疲労」といふ風なことに就い

肩腰のコリ、

打り、レウマチ

運動による疲労をはじめ、

方の方がお辛いだらうと思ひます んわ。私等より反つて陸上競技の

それは食に喋らせて

いと聴ひます。 が第一であることを力能した いと聴ひます。

ることが出来る特色を持つては何度でも繰り返して財用す

家向きの至廃、私着力ある間

十銭・五十銭・一円といる大

しかも定價はこ

・ は楽蔵中の王です、老人にも夢ばれる戦かささ型でも食べるやうないの事味を持つてるます、その響的の場が小井に綿飾られるさ年草が明るくなり、食事が一層楽しくが明るくなり、食事が一層楽しくが明るくなり、食事が一層楽しくが明るくなり、食事が一層楽しくが明るくなり、食事が一層楽しくが明るといい音楽を見に風味のある流 阳醇 到 但了四町速浪市連大



横山氏一

練習は毎日おやりで





初冬の味覺

風味豊か

な白菜

in

からが白菜の出盛期

(日曜木)

十八

在滿婦人の罹病率ご

住宅改善の急務で

/井

藏

かいよくこれから出郷り期 るのは大てい満洲麓であるがもう…その味驚への王座を占める に入ります、此の城市場に出てる

てもよ

ぢや、 魔落の第一歩ですからね。

も質問じだらうと思ひますが、ど

式の設計を多分にこり

田中氏

そりや、同じでせら

田中氏

同感ななる

1

200. E. S

が人間の健康上如何に大切なものが人間の健康上如何に大切なものであるがは今野卑迦べるまでもないこさで、耐も此の天然光線内でいこさで、耐も此の天然光線内で大棚に最も繋が、大棚に最も繋が、大棚に最も繋が、大棚に最も繋が、大棚に最も繋が、大棚に最も繋が、大棚にある、此の紫外等線に関する。 康さなり、こに優れる

く滅師、田畑に働く農夫が強敵な「るって、從つて一般に知られて唐」さらて数と頭で入せられて以来関心を聴いなるのである。源上に働」も昨年春頃迄は二三十頭に過ぎで、満興會社がドイツ本國より種子大のである。源上に働

油斷かするご 劣等犬になる

の分塊をすることで、敷の一干二 に放ては筋口具を付けた大は電車 百五十頭の特光が一回に三頭空域 にも乗れる事になつてゐる、大連 二回六頭生産するこ假定とても一 で大を連れて事車に乗る事が出來 大の関数解に付きても大は自由 に当路を走り避るものであるが出來で飼いた。 一に当路を走り避るものであるが、だは大胆を受けても愛犬変は谷中公癒の あるさ思ふて唐る様だが一つは衛にものであるが大は大は大胆を受けて居れば自由である。 一に当路を走り避るものであるが大は大は大胆を受けて居れば自由で大は大きなであるが大きなであるが大きなであるが大きなであるが、大きなである。 一に当路を走り避るものであるが大きなである。 一に当路を受けても愛犬変は谷中公癒の あるさ思ふて唐る様だが一つは衛になり変重して大を放伍せず必ず一日 生野線に成ても参犬を登取して

である【愛犬者より】 とて購入せられた来は 迷惑の 次第の 金を出







の苦心を續けて居るやうなもので 島田縣 一える大地、一日に

夏田氏――紀虹の中込なんか来りに、またま 一鬼に角が分はいくな イッ・マンの皆様が皆一妙石」の をました。日本有數の野々なるスポ 有難う征座いました。 な愉快なことはありません。では だいい違くなりましたから、これ 髪用者であることを知つて、こん

魯口廳

驗石 毛糸、毛織物、 絹物の洗濯に For All Laundering MANCHURIASOAPMFG.C.PLD





二合、鵬二合の割合に加へくほぐした潛稲一郎目につ 振りかしておくさ三週間位の皮を敷き口ぶれた腹点に の皮を敷き口ぶれた腹点に 在分性の野さに敷きその上 た葉の間に桝み溝。の底に が変の間に桝み溝。の底に サット水で焼い酸く機つもて五日間程細つた所で が位の厚さに に粕を詰め刈け菜

1

に混ぜてつけかへ に混ぜでです。 では方位の で、味 とうか宮田さんからお願ひします。 宮田氏――どんなことを喋ればいいんですかり 座談館なんて、 仮いいんですかり 座談館なんて、 仮いいんですかり 座談館なんて、 仮いいんですかり 座談館なんで、 仮いいんですかり 座談館 なんてい しょう るを組出席原へて、有難う御座い をいきません。 有変を呼ばれたしいとこ

相違に用ひた粕で遺物

熱水粕が出來ま

十年

月 上 近年に於ける醫療界の著るとい進の手事は人工大際族による紫外線の際のから可愛の大陽療療薬所が出來てた。 たんから可愛の大陽療療薬所が出來てた。 なる 関 の 変成につ

のは七八名を同時に照射と得るや 現在谷水學校で使用されてゐるが 大水線々のものが選られてゐるが かの太陽燈には

意が願い度いこはひます。 意が願い度いこはひます。 意が願い度いこはひます。

B Ξ +

であてゐるが我國でも近年太陽燈 一文が先づ程脈をして起鞭兒童に 大陽燈浴の影像をして起鞭兒童に 大陽燈浴の影像をして起鞭兒童に 大寒が先づ程脈をつけ軽し、伏見 大寒が先づ程脈をつけ軽し、伏見 大寒がたつだい。 では大正小 の利用が大第に盛んになり感院、 で来た、大連の水學校では大正小 の大學校が最近施索。

此の太陽燈は、太陽の紫を開始し戦次普及の傾向にある

的に放射させる裝置である一陽の外線で同様の効果ある光線を人工。

タミン」整修によるよりも悪かに 自然値で脱油を用ひて紫外線放射 が立識されてゐる「寫真は大連伏 が立識されてゐる「寫真は大連伏

▼…自業の無償は何んさ云って物で十二、三錢ごころです。

午後の断想

ごの都市で、 而

小學校の見童が 萬以上もあら

◇蘭を磨きませう 伏見毫校の歯門周間

もないのはご

太陽光線

シエバートの流行と

優良種犬の

擁護

五

八工太陽燈

ょ

3

際話五五五四○大連市伊勢町角 何でも御用命下さい ジャバン・ツーリスト・ビュロジャバン・ツーリスト・ビュロ

なり一般の人々も此のシエバードカカカかを加る様になったので現在では二百餘頭同音せらる、機になったので現在では二百餘頭同音せらる、機にない。直に愛対家も劣等の総種大をり、直に愛対家も劣等の総種大をり、直に愛対家も劣等の総種大を

ダ

1

ヤ

0

指輪

<u>:</u>

す、先づ約満にする

女中に遭りましたのでありませんわ」
「あの指覆ですか、あれは鰻鯵の安鯵だったから、内地へ歸ったろへ群僧に上るこ夫人は新うぶつた。

紫外線の醫療的効果

腺病質の兒童には特に有効

海に気で 横山氏― 一何でも結構なんです

電機 業 気がたものなった。 を変えなおいる。

りょく乾いた様に纏二合さ の無難は一肢脈端にして水 の大大日城に取出して水

ことを中心にしておお願ひませら にといいにしておお願ひませら を決め、度いた方がやりいくです

か。武本さんからどうぞ一つ… 田中氏

田中氏――君響はさぞサイン攻
宮田氏――いや。そんなことは
ないよ。怪等のファンは、男の方 なおや、迚もすげも女性の 田中氏――君等はさぞサイン攻心要はありますね。 もすげる女性の野塚フーさらでもないよっ近 宮田氏

らく全部が「妙布」(然でせらよっ 我本氏

宮田氏――あいいの間によりますが、伊等選手も大に自重する 島中庭 田中氏 島中篠

残らないのが何よりです。 留中さんも「妙布」 となる。 てれに、劇して痕が

ふことが出来ますよ。 は疲れなんかスツカリおれてしま

助ってぐつすり安眠すると型でも に疲れた後でも、あの「妙布」を

宮田氏――あらいふ問題は弱り 「一年の極東大管の時のサイン問題は 「苦々しいことでしたね。」 「お々しいことでしたね。」 なに激しい練習をして、

水泳選手 あいつは質によく効ますね。 配陸上競技流手 者 横山民田中氏 清朗 0 秋



(者 席 出)

若人の血 は躍 ラグビー器手 平城氏

ろ

94

冬學生服、 を背廣三揃服 自動車用レザー **耐寒防**水 洋服·家 巾七十五吋モノアリ •室内装飾• 覆布 具 四

高 ジュラツシア経蓄音器 畜音器を求めらる 込 うは早計な

本器を試験せずに蓄音器を求れる場合を表演器械絶對保證中で見品 浪町勢伊市連大 會 商 榮 九三八話電 元入輸

左の処し(〇甲勝×分)

六時十五分間その成職

退後の 霧卍番の

十五年まへの思ひ出

東京にて旭

0

兩組

富時は支腿あり)より沿上巡査出

帯鬼好の

愛嬌を含みて恐ふるに膨

人(內男二千七

くして師路は歩行に依ること、

眉溪 ド着けば霧社支殿へ

冩眞サロン

春の解水期を行って着手するさ との程識量に着手したが工事は明 に着手したが工事は明 を 無松間の新線敷設を計畫し

▲金井線道省

・ 本資

・ 本資

・ 本方

・

十一日

のが多いさ

革命記念日

職のは、

に完備兵や警察官の残職 子の「女は何處へ行く」

吉

林

なってゐる

邦語歌詩の提唱者が井幌子好史は
「中マート教育」をの他多数の出迎へを受
ト教育」をの他多数の出迎へを受
ト教育」をの他多数の出迎へを受

ル歌便原配※大城等歌(書)以下他の水ーイ等十六名が一郷打歌され の水ーイ等十六名が一郷打歌され

であるものは一票、四十五名二票された事に一票を増す人庭歌撃機を であるのは一票、四十五名二票されて事である。 ないまた、なは同會は昨年の路安約は一票されています。

拳銃なら確信

各主要瞬にて混合保管を開始した吉長鐵路に於ては十一月十日より

貧民に施粥

混合保管開始

完全な防弾具

鐵嶺兵器部で完成す

古林紅卍字分會は陳年冬季に入るため十一月五十日より施行することを観点に難らて施城を招つて歌たが本年も例年に倣つて之を戦齢で行って歌いか十一月九日午前十一時よりたけるため十一月九日午前十一時よりを開き協議をならたでを脱齢ですることを明られている。

書記生の異動

電外務者属関島氏が書記生に任命 を接触事能在號を命ぜられたが 来に動け来定の出

町のニユー

ス

今回吉長磯路局長に低命された報 郷野氏は十二日十五時代の急行で

一日來奉

なく後續歩行の横田原が小膝を塞めなる響手の足迹兵験いふばかり 独勝する響手の足迹兵験いふばかり 独勝

の厭鄙經監の選出館頭とた掠めて男之を見ぎて職路を進む、人止關

機があり無流は次第に低下し合金を開びあり無流は次第に低下し合金を開びの山田を開びまる。

仕立の籐椅子を輸さし不聊れの際 里像を攀じて海社に達するので

日から一悪獣大阪に於て賜かれた本年度の日本黥政、監査の「東京」を明明時代の正教天 市岡光章氏の「明朝時代の建築 物の一部」 全局衛養雄氏の「奉天の東藤塔」 全局衛養雄氏の「奉天の東藤塔」 全局衛養雄氏の「奉天の東藤塔」 全局衛養雄氏の「南地大豊富」をの他入還者 全局衛養雄氏の「南地大豊富」をの他入還者 全局衛養雄氏の「東藤塔」 全局衛養雄氏の「秦天の東藤塔」 全局衛養雄氏の「秦天の東藤塔」 全局衛養雄氏の「東京」といる。 柔道戰

て整行されたが、期待されただけ一て女史の盛大な報唱者が開かれた可日午後四時年から電天道場に統一向十一日夜は春日小學校総堂に統朝総鍛道局歌響天の柔道試合は十一く考へなのです。 青年の經濟自覺 五

田奉天運輸事務所長 十一日

川長春運輸事務所長 十山夜一日本溪湖へ

名の立那人がくるま座になつて階 | ▲水井都子女史 十一日來率地支那人かるた製造所に於て十數 同上 | 本オオーレッチ氏 (駐日獨大十日午後九時頃市内標立町十八番 | 十日夜安寨線にて日本へ

オオーレッチ氏 (駐日郷大使)

間像の機関にも一、二本電支険が に振鳴してゐたソウエートの園か が何ものにか部取されたが、東鐵

不逞鮮

0

撫

順

居住してゐるカーチン技師の門如くであるが、八日の晩北京街

総良智い

式を盛大に攀行したこさは既然なく平穏に暮れ東鐵関係では影

命記念日は特にこれていふ野ひ七、八の豚日に取るソウエート

量変 めにも

事とて数日中に戦布すると な教表するため繁製版域、運輸版 が、収支比較及今後のが針等を編 が、収支地較及今後のが針等を編

市村製材公司常見職師氏は今回安 東に轉任するこさになりたるに就 り名古屋館に揺揺して一夕の変な り名古屋館に揺揺して一夕の変な

吉海營業成績

常見氏轉任||

油二五倍

鷄卵三六二倍

100個入 1000個入

在滿25年を記念し從來の三割引

何卒御引立の程御順ひ申上げます

陸軍御指定 滿續助成旅館

にて奉仕的替業致します

哈

繭

職さしては念が入ってゐるので

ト間族を奥へてありの各ソウエート技師

はめに多大の貢献あるも用される事でもなれば人

鮮農狀態を視察して來た

川醫師等一行談

E目では 治安が維持されるに至った事は の勢力なくこの點においては撫

近ごろの新傾向 齋藤青年會主事談

滿洲代表歸る 哈市中國總工會 内容を改造

ア港建設工事

のであ

高氏宅焼く

大衆的のものたらしむ

本の機能會組織法を施受しヘルビー 物を真ふ代りに自治的機利を興入

(日曜木)

とて出品してゐる、之がため比で無論寫真展があれ、之がため比で無論寫真展があれば水で苦心で無論寫真との熱心家ばかり責して實ふほどの熱心家ばかり者がは水で苦心で無論寫真展があれば水で苦心で無論寫真に趣味を持つ

あるが維特選入邀者の岩

ルニ三年度までに竣工せらむ れのため本年度の建設工事を休止 である。二十パーセント成功ら一 を來年派遣することになった は北方ソウェートの際接のため一 モスクワ中央鐵道浴業員講習會で 九三一年度から鐡道建設をす 測量班を派遣

商友會月例會 中日晩月側會を能した。 大田歌月側會を能した。 大田歌月側會を能した。 大田歌月側會を能した。 大型歌音の記した。 大型歌音の表した。 大型の表した。 大型の。 大型の が指すれています。 が指すれています。 が指すれています。 で焼きったばかりの家でが、 がもので、失火の原因は物ご たいが、 がいるさ、同家は物ご でいるさ、同家は物ご でいるさ、同家は物ご でいるさ、同家は物ご でいるさ、同家は物ご でいるさ、同家は物ご でいるさ、同家は物ご でいるが、 がいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい

列車に振落され

平

街

等卒が即死す

守備隊で莊嚴な告別式

院籍青森縣上北郡下田村目下四平 は十日午前十時三十分、四平部縣 は十日午前十時三十分、四平部縣 は十日午前十時三十分、四平部縣

組織の計畫

公務上の揺りな何ぐべく兩手に衛 た提げ三等車より二等車に移乗

た城子歌院場に然て十日午前二時 で歌の顕都を観け駅がせらめた 古城子の殺人

九日、益田男爵邸に陳列し關係者一同有

御大禮奉祝献上繪卷物

益田男邸における關係者の下見

この程完成したので近く戦疾さる、が、これに焼たのため大和納の人々の集りである國風鑑賞々員廿六のため大和納の人々の集りである國風鑑賞々員廿六の野になる作物物器神器を戦戦せんと苦心悪怪中

銀路代理局長に符命された何温泉

何四洮鐵代理局長

を打ちくだき歌がした、歌歌は同時まで進い。 しく職事に衛婦を提げてゐた総動 しく職事に衛婦を提げてゐた総動 しく職事に衛婦を提げてゐた総動 しく職事に衛婦を提げてゐた総動 しく職事に衛婦を提げてゐた総動 はは同様の動語を提げてゐた総動 はは同様の動語を提げてゐた総動

版れず 五川間マンジリこも と得なかつた、角鮮農の食物に は現に角中川磐岡の如きは総社 は現に角中川磐岡の如きは総社 は現に角中川磐岡の如きは総社 は現に角中川磐岡のからたの 辞して便頭になく大部後をした、 古る知識は非常に変達と何處も する知識は非常に変達と何處も する知識は非常に変達と何處も する知識は非常に変達と何處も する知識は非常に変達と何處も する知識は非常に変達と何處も する知識は非常に変達と何處も する知識は非常に変達と何處も する知識はよっても 変に なって 大 でがこの 受積 着 当者が なって 大 で かこの 受積 着 当者が なって 大 で かこの 受積 着 当者が なって しまる と 優ら ひごが なって 見る ひごがな ウェース

御家庭に一瓶を

(1) 歯を白く美しくする為に…(2) 口臭を去り、 扁桃腺炎、咽喉カタルを豫防する為に…… (3) 不時の負傷の手當に…(4) 汗臭の除去に…… (5) 化粧用に

> 詳細説明書あり、御申越次第進呈す 一瓶250瓦入

開業一

周年報恩紀

御折御茶むすれれない

其の他御注文の節は多少に拘っ 早速御配達申上げます

二個に付

四十錢均

電話六七二番の桃太郎へ御用命の程を

桃太郎特製のカステーラ饅頭 進物用祝菓子、 条子色々取揃へて居ります多少に不拘

赤飯祝餅

電影水貨板品具 等前次 等前 大資

牛乳六九四二倍

一瓶 50個入

電量三三大番 特------ 7.00 3¥ 3.00

近江屋ホテル

旅順乃木 工 E

服店を難貨屋などあり俱樂部へ徹時は像に六戸のみン宿園 内地人の居住せるよ し着人は悉く北都で 上流を分界さして

たが、此間表明治三十九年に一代で大正二年に到り不定を一に終手したのは去る明治三 は他の隘勇線さ異ら

にては金銭質聖し行はれ総器の代には八十名の生徒があり、突易所には八十名の生徒があり、突易所には八十名の生徒があり、突易所には八十名の生徒があり、突易所

里の既命を完整に向った(つゞく) 融るため得来して立ち務社より二

、鍼條線の設けなきも一

を帶ぶ撃備に離れる監督所 の観あり、一帯の山寒は隙

り支職(今の鬱綜分釜)を置き中一社支職(今の分箋)は此高山淺谷、 雖る所大正三年四月驚地支配のた 一萬尺以上の峻巒重叠せる所、縁 成し三大川の鳳頭は雲原を除する及び大肚溪の上流北渚溪の瀛流を ず理が

大都社三十六の小社に分れ戸数

げた終り近來は歌人も栗のみでな

首の所持者もなく続器亦一應引揚 括して数個所に埋め墓標高く大な 人首 は三百五百さとなー 何に高山徽地の整備が人異を遠か

震勢に閉ざ、れて孤獨凝察の高山 電影に閉ざ、れて孤獨凝察の高山 高さは櫻ケ峰八千百尺、三角田崎響備を継續してゐる、其響備地の 安全ならんか、其際は

はざるもかくの処き脱波を切で揺しれるがために良ん織さいふ酸

大連浪華洋

成長發育を促進し、疾病に對する抵抗力を増進する 新榮養素……ヴイタミンA……を攝るには、牛乳 可なり、鶏卵可なり、肝油亦可なり。而して三共ヴ イタミンA最も可なり蓋、三共ヴイタミンAは之を 前記食品中のヴイタミンAに比すれば、牛乳に六九 四二倍し、鷄卵に三六二倍し、肝油に二五倍する力價(動物試験による)を有し、少量にて足り、且つ服用 し易きを以てなり……

御一人前(酒)本

背葉町の 外 山 電話四一章行

外山洋行特製(化粧用) 第十回英國製作 外山洋 詳細御一報次第現品持書店員參上旅順甲込所外 トヤマ石鹼。年打凾人 金七十錢

田村商會旅順支店

月賦販賣の御相談に應じます

安くて軽くて丈夫な代表車

御

意樣

電

話 È

t 大

私

名古屋鈴木の

京丸石の 京日米の

リーフ號自轉車 増 愛 號自轉車

記者車等留所前

小兒科

派原

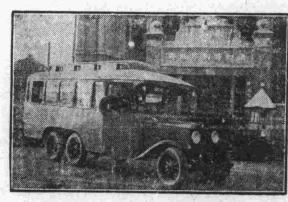












善き物は權州ある店で

なって

る事を宣傳するに充

ものである。して又それけ、丈夫に

一經濟的なシ

連

約販賣

遼東

剪

車

會

電

三六七

通三

の二三量のシボレー軍でけどめられたが運輸の結果者に滿足た與へ且、なくてはならわものさなつて かつけ、現在の難展が個然でないこと、證明する しまって今では

搬にがても

十四臺の多きに達した。この

車質は支

声に於いる

パス運用の

粉水に、

折紙 きづめである。そし 漢口特別市區に今 車の使用は有用だるパス運

△漢口に於け 乘合・シ 3

ボ の成功

遠近さなく百世

四

0

ニスピ各々一日十哩以上の道を十六時間し動

入もの御客だどの車と乗せてゐる、漢口の乗合は一年中前ほ人

七七番地

品産品の社會ーターモ・ルラネゼは車動自合薬ーレポシ

不可能なら言安出紙の時期後世野な受け得わから同事性の分離。 休憩を 賞し合語の結果 被告小地は震戦事代 延期を申請した は な一性間二十分に配る保護や職を をは総護人職が保護を禁り選延し に、小心平吉の総護士職がや 申請するもぞれで監好 以上他の阿被告に就ても同様分離し同人ご共に裁判か為さいる。 能し同人ご共に裁判か為さいる。 常安の調響は富安が出血症傷 で、富安の調響は富安が出血症傷 に権り主治醫の拒否せること。 當分開廷は

「公焼祭止」を置し午後四時十五

校内をデモ、 騷動恶心 警官が出張して警戒 講堂を占領し學生大會

分であった

口や腹

か

ら起る

病氣が筆頭

二十歳以下の學生に多い

健康

に

談所

の
取扱者

無罪の判

決を

狙ふた作戦

比較的安心な私鐡だけで

審査を受けるため

(は延期の申請は越下し審

分閉廷した

寄せ、窓にこれながら 次官にし ふ手交 より警覧多数出張し響点に発めて 一 一 会のラスを総合すべく既に十一 時 会が でいます と でいます では いってい に と でいます と は でいます と は でいます と でいま と でいます と でいま と でいま と でいます と でいまま と でいま と でいまま と でいます と でいままま と でいまま と でいまま と でいま と でいまま と 明大雄語の風景につきの歌歌につきの歌歌とは十日夜今晩の歌歌につき の回答

大騒ぎ解決近し

博多灣鐵事件

分離申立理由

次を爲す能はざるや明かなり故と を爲す能はざるや明かなり故と を爲すいに表示されば、 を別所が事實を明かに最正の判 がは事件の核心たるべきものに ではのはないながになける供 を別になける供 を別になけるは を別になけるは を別にないる。 を別といる。 をりと、 をしと、 をりと、 をりと、 をりと、 をしと、 をしと、

病氣が筆頭であり、 お筆頭であり、結核性患者も

世人間百五十四名、次は十五歳以下の あさ最も多數なのは二十歳以下の あさ最も多數なのは二十歳以下の 殿以下の五十七名等の順驚である四十五歳以下の七十四名、三十五 八十三名、三十歲以下 肺結核 十一名その他

被診患者の網名は消化器域の三十一般設患者の網名は消化器域の三十 横銀 满锡広西

打ち續

不景氣

無職の百

育に努力してゐる標は悲痛の極みの不平者も出す天職として見童教

川柳俳句書展長谷川竹友書伯の

に、大連の銀友及びル柳家が養世 ・ 大連の銀友及びル柳家が養世 ・ 大連の銀友及びル柳家が養世 間にわたり滿日第二講堂に調修の情能展覧會を十四日か 十四日より二日間滿日講堂で て都路華香氏に學水、現在院展 の電鎮宮田溪山畵伯さは同門で の電鎮宮田溪山畵伯さは同門で 大歌価伯は現代の旧ものである。 特友畵伯は現代の旧ものである。 情あさころあつて、東都に遊び によつて五ケ年間印度な漫遊さ て大自然の風物を研鑽して一大 大大自然の風物を研鑽して一大

東京府下の小學校教員百名に

天職で兒童教育に努む

桁支拂 少停

映畵

日時を製すべく萬一 忌趣理由を設 参称。こればなら200で今後空年を 参称でればなら200で今後空年を

滿日講 內外各 全滿洲 堂にお て映畵展覽會

各種映 闘する催物 **畵撮影競技大會その他**

死去

で保釋中に 攝政力 ツ ブ輝く 勝山洋行連集団市権

土地事件

プルの強政カップを手にせる山岸、志村、シングルの機體に何等の波瀾もなく山岸、志村組優勝さた 【寫真にて早大の佐藤君優勝さ、ダブルは山岸、志村對布井てシングルより始められた、シングル決勝には開佐藤本庭球選手檔決勝岐は既報の如く十日午前十時より早 **会日本庭球選手權大會優勝者**

四月上丘則合習をしたことを対している。一行は一四月出帆がから大連競馬ファンの招待を依部から大連競馬ファンの招待を依部から大連競馬ファンの招待を依部から大連競馬ファンの招待を依然がから大連競馬ファンの招待を依 **輸社競馬通信部では天津競馬観光團募集**

八會では十五日午後五時 廣島縣人懇親會

印刷 長井印刷所 御宴會場 喜んで日々の相場を御知らせ致します先づ専門の大島屋へ御尋ね下さいませ △普茶鍋——仁王鍋 白米問屋

月大連で開催 週間

(アシントン十日蒙電道)総具部では、本日の國際観光院會にて左の好く激散した日本の人口は残三十五年間に一位に達するであらう日本人口増加の解決策は日本を更に工業化する事に在る面とて工業化は日本な他の國こ更に密接な關係になったの。

岡

商

鶴見氏の演説

0

本

各地

名

産

珍

り雀

小なす辛子漬 小なす辛子漬 小なす辛子漬

國際親善協會

映畵會社作品競映大會 畵の夕べを一週間開催 映畵聯盟の創立發會式

がに至るには今後や月以上一月のく 共歴後の決定を見な地際延の膨

海上警備演習のため

y

小遼海丸出動

機關銃の實砲射撃で行ふ

**主催

日

の演習もなす筈、因に歸連は十六

日の豫定であるさ

吉村

者し歌越さるれば控訴院大審院にで審理し申請の可否を決するが、 で影理し申請の可否を決するが、提出され裁判所ではこれを他の部

『北平特電十二日盤』由東省湾南

湾南に牛の流行病

他の動物には傳染しまいさいはれ

洲

日午前九時から第一際接筆に於て開東職官有財産調査委員會は十一

月賦提供《

官有地の拂下

調査會で決る

開會午後五時閉會したが今回決定 を見たるものは大連、旅廳、 神職 大中城、周覚衍土地十七傑百四十 九件二十五野、總将數三萬三千百 八中城、同覚衍土地十七傑百四十

オーガスト フオルスター 八八〇園 修理調律・中古交換

山溫一派記洋行

界各國

酒

類

料品

連大山通

教専の生徒募集

第三次 B A次 抽籤

第五回購買會

特製金州澤庵賣出し

海

洋河沿岛

渡濟鈴木吳服店

LE L'AUTHNOTHER CO

十名、同二部十名、連称一部十名 南流教育期門學校では來年四月の南流教育期門學校では來年四月の 同二部十名合計四十名の生徒を豪

職職土地會社をつくり所贈土地野 駅事代の中心人物さらて知られた 前大分日々新聞社長吉村一郎氏は いま、吉野町棚江警院に入院、療 以来、吉野町棚江警院に入院、療 が、近野町棚でいま月十八日 で、たい、世月十八日

一般人學校定試職合格者で願書受信 は中學校師範學校卒業者及文部大は中學校師範學校卒業者及文部大

● 電話九七五三 』 大連樂命会

町東京婦人美髪美容學校本郷御茶水東竹美媛節校舎小六六〇一全國最古最大緩節校舎小六六〇一

コ運ジズ現 | ヤ ル動ンボ場 天 パ 服服 | ン服

元 氣 洋 行連鎖商店心醫機通

其他各種服裝調製

よ 勉 せ鍋すき 强 和洋料理 浪 0 一人前 五

A HILL OF THE SECOND SE

く御利用あらん事な御待ち申、満各位の旅勢を慰するは此上なりに本館の誇りさして居る所で、共に本館の誇りさして居る所で、共に本館の誇りにして快適利便に、 道營省

御食事

地下室食

| | | | |

大臣鍋 が重なる名物 其他種々 △小坊主の薄茶は本山の例 佐渡町一八西廣場幼稚園横入 話 二二三四五 五一四九

△仁王山門潜る正

面本堂



關東陸上競技大會に 第信 一用

御申込十二月十日限

で規約署を御請求下さい。

大連市浪速町

一誠車画像にて午前九時五分宮

城御出門、入江泉太后宮御飯、総父宮同船・殿下始め女武守野辺郡に東京軍通常御武安に大脈位殿章を御候用、安良物徳武官長以下を恐べられ印『東京十二日登電通』三備の野に陸軍特別大蔵戦御被認のため帰はせら

(4)

2

0

ふ辺

連 町

7

千百八千八票

月以來の全經総の支掘いな際止し 糖食調査中である。同が酸は水田 機な調査中である。同が酸は水田 機な調査中である。同が酸は水田 で、今日

中 は一本をメチャーへにされたが、一人 本をメチャーへにされたが、一人

世界的米選手を

日本に招聘

高級 羽根 蒲團

甲種 金六圓半

乙種 金三 圓半

丙種 金三

八ケ月拂込=

明年五月に舉行する

は解総不振の打撃に家庭經濟の機能はかラくくさなり、水學校教覧になってする。 大学校教覧

線松山の人で京都に出

大演習御統裁の

ため

聖上、東京を御路

きのふ名古屋

向はせらる

ロザート三氏を探戦して新加出場 八百メートルを一分五十二階級際手を放骨は明年五月の関東陸上競技 くこさを提高するこさとなった、按照骨は明年五月の関東陸上競技 くこさを提高するこさとなった、安郎舎は明年五月の関東陸上競 ド歌手を接続して國際競技舎を即

を全

りあに店築名著國全

(11)

はつさ、無付いたやうに、数方に置くさ、種母にたって、他能は紙を下に置くさ、種雄は、そつさそのまい口に持つていつた。 「いや、どうもいろくさ荷がた」 和雄は、南く 、明る味を持つた灯 秋の字道別中から、愛ないます。お急ぎの方は、永光様がお手紙をお出しになればすぐ親切な御込事さ正とい肺病全治の導きをいたがけること、存じます。 なに私の、様いたとのが、私さ同じ肺病の苦悩から一日も早く逃れて下さいますをしたが、私さ同じ肺病の苦悩から一日も早く逃れて下さいますという。 なる哲学の私にほ私の、様いたとうとが、私さ同じ肺病の苦悩から一日も早く逃れて下さいますやう心かと、祈ります。 ただ 楽」でございます。 おきでは がいま すぐ親切な御込事さ正とい肺病全治の導きをいたがけること、存じます。

松江市攤町新町

五和昭

滿日 南 選

- が軽を振つて隨え上げたさいふセーが軽を振つて隨え上げたさいふセー

の好い座敷であった。

まったこさが、顔の隅の方で自分この邸を去年追ばれるやうにして、この邸を去年追ばれるやうにして、 この邸を去年追ばれるやうにして、

かう思ふさ、然に耳の根まで熱っに呼びかけてゐるのにふ付いた。

には、紅い色や青い色の雨

いのですわ

貴がはおおれになり お酒は記上がれな **| 日本建ての点の、側の傾瞰夫妻**

あまりやれないがなんで

さ笑った。

月產三十萬個

学園博太)振春大阪(0003番番 大阪(0003番番 大阪(0003番番 大阪(0003番番 大阪(0003番番 大阪(0003番番 大阪(0003番番 大阪(0003番 大阪(0003 大阪

りれ健 又る全 母幸な

た融る

にらむとする人 世た

日

本一の

健康見は!!

次の様な御容態の方は平上れ

治効能:

迷ひなく

あるのです

陰聯完全錠前付 山間僻地隈なく照らす 開始

不願うわり、近上、頭痛、月散、耳鳴、不願・つわり、近上、頭痛、月散、耳鳴、

簡部の痛み、ひき

絶對責任藥(1200人でキャメから明)無効返金管添付とり (は殘藥引替に全部返金・)無効返金誇添付せり(二一のんでキ、メなき時)一々クスリ箱の内に 制に御注意と模造) 松下電器製作所

卅一日分分 七日日分分 七日日分分

薬良人婦

喜谷市郎右衛門

大連 青々 麻大連 青々 麻大連 青々 麻大連 青々 麻

沙州

幸校

れてるた。 打解けた、お茶時さい かか、さりく に好ましく盛ら 日の、が、さりく に好ましく盛ら 日の、が、さりく に好ましく盛ら 日の、が、さりく に好ましく とって かぶな洋食 が

の時が総に来て坐ってるた夫人が、突然後からから川起った。するこ、使職は、夫人のがをチラさることを職じ、夫人のがをチラさ今二人の視線が、自分の上集ってるるここを感じながら、ちつこ、の職はしているるここを感じながら、ちつこ、の場が、自分の上集ってるることを感じながら、ちつこ、

ても差支ない響だらうこ

今の話の後をつ

親けな眼差した、和雄の方へ寄せ

和実に羽綿病後へ重 事実に羽綿病後へ重

費出しへ又欲さ

ここはないさ。何うだれ、何か

和雄は数つて、そつさ眼か上げ

真心をこめた羽織を着

けて、和雄のがへ出す。

にこだはりかけてゐるのでは、かうした假骸の追踪が

「君は、自分の書會さいふものな 展いて見たいさは思はないかれ」 「そりや、出來れば試つてみたい き聴つてまずけれど……」

羽織着た異人の

別ない。 別ない。 別ない。 別ない。 別ない。 できせる知心 できせる知心 できせる知心 できせる知心 できせる知心 できせる知心 できました。 できました。 できました。 できまた。 できまた。 できまた。 できまた。 できまた。 できまた。 できまた。 できまた。 できまた。 のののでは、 できまた。 できまた。 のののでは、 できまた。 のののでは、 できまた。 のののでは、 できまた。 ののでは、 できまた。 ののできまた。 ののできた。 ののできた。 ののできた。 ののできた。 ののできた。 ののできた。 ののできたな。 ののでを、 ののできた。 ののできた。 ののできた。 ののできた。 ののでを、 ののでを、 ののででを、 ののででを、 ののででを、

確奏

離賞奏効快嫌数治す 御試撃有り経めて自然に優秀な 御試撃有りを呼れる方は最後に之から 等百方効なき方は最後に之から では、「やのででは、一位では、 のでは、 では、 のでは、 では、 のでは、 では、 のでは、 では、 のでは、 では、 でいる。 では、 でいる。 でい。 でいる。 でい。

藥本

見送りの妻後ろれ

かに混しながら、紅さ鱗の深い色。

新国を溶かしたや

強られるまいに、静かにグ

こ、歌地した。

の病等卵は気候所ら子

3

クフフリ レラ レラボ

☆用紙半式▲

JANUARY

電話五八七四

時上上總 講習 3 電話八五〇八番 ナミョナルランス ノンキ ストーブ

松下工場製 领受牌智者名金牌客於 在めや愛 酒家

3

沿建門

1

本 舖 東京 山田 資 生 堂 日本寶樂會社

発賣元 大連市 林式會社 進和商會

樽は吉野の甲付樽よ 酒は伏見の高級鉛酒

電話ロニ

要目

南満洲電氣林式會社

社人の慢性闘カメル、切やの骨線 地の脱酸が治りましてからずつさ での脱壁が治りましてからずつさ 到る所の際店にあり 家の守護薬 價 定 四二百五 十十人入入入 二一十二十十

貧血·疲勞·病中衰弱 精力の意退・腺病質の小兒

手を借らず、服んで

直ぐ榮養分が吸収さ

れる様 ― 既に立派

に調理せられてある

榮養劑が……

ポリタミンです

質白質の完全消化體

多三

30-966 (0)

アミノ酸製剤

肺結核・神經衰弱・病後に 三百六十餘醫學博士の推奏する

> 250瓦(2圓50錢) 500瓦(4圓50錢) 知名薬店にあり。

大阪市東區遺修町

糕 武田長兵衛商店發賣

大スマポマードを制使用になりますには指いてかなっけて毛根に数り込み頭皮に適度の側にかなったと おったからならへーヤブラシを以って戦くをからならへーヤブラシを以って戦く

(6) を

を

変快に

保ち

を

変快に

保ち

--優美な波線さ……

有効な整髪は御使用になるであります けれごも夫の

鐵骨家屋 豆油容器 煖爐類鐵道線路附屬品及信號裝置 電話《從馬及長的雕 九一五三番 九一五三番 九一五三番 九一五一番 山町

製品(鐵橋鐵桁、

大連機械製作所

一付、鑄鐵管 鑄鎮、鑄鐵並具錄歸物、酸素瓦斯 汽罐、汽機燒突、各種機減類 設計、製造、据

支店並分工場 奉天西塔大街三丁目